新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金活用事業
令和３年度

見える化資料

年度	実施計画No	予算事業名	担当課	ページ
R2（繰越）	23	学童保育所整備	町民福祉課	1
R2（繰越）	52	新生児特別定額給付金給付事業	町民福祉課	3
R2（繰越）	54	農業経営次期作支援給付事業	産業振興課	4
R2（繰越）	56	キャッシュレス決済導入支援	まちづくり推進課	5
R2（繰越）	59	介護施設等新規入所者PCR検査事業	高齢あんしん課	7
R2（繰越）	64	高度無線環境整備推進	総務課	9
R2（繰越）	67	学校感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	学校教育課	12
R3	1	「江差割」宿泊キャンペーン	追分観光課	14
R3	2	職員人件費（一般管理費分）	総務課	20
R3	3	新型コロナウイルス関連周知	まちづくり推進課	22
R3	4	高齢者施設及び介護保険施設等従事者ＰＣＲ検査	高齢あんしん課	24
R3	5	“第2弾”事業継続支援緊急給付金	産業振興課	26
R3	6	地域経済活性化支援補助	産業振興課	28
R3	7	商店街地域拠点施設感染防止対策支援	産業振興課	29
R3	8	図書館システム整備	社会教育課	31
R3	9	指定避難所Wi-Fi環境整備	総務課	33
R3	10	①庁舎内飛沫感染防止対策 ②庁舎内飛沫感染防止対策（消毒作業）	総務課	36
R3	11	江差EZOCA普及促進	まちづくり推進課	38
R3	12	江差追分「キズナ」プロジェクト	追分観光課	40
R3	13	江差町ふるさと特産品PR事業	まちづくり推進課	45
R3	14	姥神祭り消費拡大キャンペーン	追分観光課	47
R3	15	①（仮称）かもめ島の秋まつり ②「かもめ島」活用観光振興	追分観光課	50
R3	16	AIカメラ体温測定システム整備	社会教育課	52
R3	17	江差町住宅リフォームプレミアム商品券発行事業補助	建設水道課	54
R3	18	①町立保育園トイレ洋式化改修工事 ②老人福祉ｾﾝﾀｰﾄｲﾚ洋式化改修工事 ③檜山地域人材開発ｾﾝﾀｰﾄｲﾚ洋式化改修工事 ④江差商工会ﾄｲﾚ洋式化改修工事補助 ⑤集会施設トイレ洋式化改修工事 ⑥運動公園トイレ洋式化改修工事	①　町民福祉課 ②　高齢あんしん課 ③④産業振興課 ⑤　財政課 ⑥　社会教育課	56
R3	19	①アワビ養殖漁業モデル推進事業補助 ②農業経営持続化支援給付金 ③漁業経営持続化支援給付金事業	産業振興課	59
R3	22	インフルエンザ予防接種支援	健康推進課	61
R3	23	港湾事業特別会計繰出金	財政課	62
R3	24	保育園感染予防物品購入	町民福祉課	63

年度	実施計画No	予算事業名	担当課	ページ
R3	25	江差町公共交通事業者緊急経済対策支援事業	まちづくり推進課	65
R3	26	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染拡大防止対策Web会議ｼｽﾃﾑ拡充事業	総務課	66
R3	27	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症検査費用助成	健康推進課	68
R3	28	“エエ町、江差”飲食店応援券事業	産業振興課	70
R3	29	町内会及び自治会への活動支援事業	町民福祉課	72
R3	30	ｺﾛﾅ禍における文化保存伝承支援事業	社会教育課	73
R3	31	冬期間における子ども等の居場所づくり事業	社会教育課	76
R3	32	公共施設を活用した子ども等の居場所づくり事業	社会教育課	79
R3	33	新型コロナウイルス感染予防対策	学校教育課	81
R3	34	健康管理システム導入	健康推進課	82

年度	R2 （繰越）	担当課	町民福祉課		
計画No	23	事業名	学童保育所整備		
実績額	12,870,000	事業期間	R2.8.13	～	R3.6.2
交付金充当額	12,870,000				
対象	学童保育所				

目的
新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、３密対策として学童保育所を整備し、保育環境の充実を図る。

事業実施状況
学童保育所整備にかかる費用 ・設計委託　1,106千円(R2：1,106千円・R3:0千円) ・工事請負費　12,870千円(R2：0千円・R3:12,870千円)

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
施設整備により、子どもたちが伸び伸びと過ごすことができるようになった他、一斉保育実施時の密集回避により、新型コロナウイルス感染症対策の推進及び安心安全な放課後児童健全育成事業運営につながっている。 ・適切な換気対策の実施。 ・十分な広さの確保による密集回避。 ・トイレ手洗い場の蛇口非接触化。		

年度	R2（繰越）	担当課	町民福祉課
計画No	23	事業名	学童保育所整備
資料			

蛇口自動水栓

自然換気口

年度	R2 （繰越）	担当課	町民福祉課		
計画No	52	事業名	新生児特別定額給付金給付事業		
実績額	100,000	事業期間	R2.9.17	～	R3.4.14
交付金充当額	100,000				
対象	給付対象者の属する世帯の世帯主で、令和2年4月27日以前から引き続き江差町に住所を有する者				

目的
新型コロナウイルス感染症防止対策及び育児応援のため、国が実施した特別定額給付金の基準日である令和2年4月27日後に出生した子供に対し、町独自で給付金を給付する。

事業実施状況
特別定額給付金 新生児22名×100千円(R2：21名×100千円・R3：1名×100千円)

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	×
①令和２年度の事業実施に引き続き、繰越事業を実施し対象者1人のうち1人に給付。 前年度給付の21人も含め、22人全員の保護者に給付実施。（給付率100％） ②新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響が長期化する中で、新生児が所属する世帯に対し特別定額給付金を支給することで、感染症対策と子どもの健やかな成長の両立に寄与。		

年度	R2 （繰越）	担当課	産業振興課		
計画No	54	事業名	農業経営次期作支援給付事業		
実績額	7,320,000	事業期間	R3.3.11	～	R3.5.21
交付金充当額	7,320,000				
対象	町内に法人及び個人の住所を有し、且つ、令和2年4月1日以前から江差町内において生産活動を行なっている農業者				

目的
新型コロナウイルス感染症の影響により、来年度以降の米価や農産物全体の需要の停滞が見込まれるなど、今後の農業経営に不安を抱いている農業者に対し、支援金を給付し、次期の作付に向けた耕作を支援する。

事業実施状況
農家に対する経営支援金 ・農業法人　3社×100千円＝300千円 ・「江差町水田農業フル活用ビジョン」の取組を行っている 農業者　　69人×100千円＝6,900千円 ・上記以外の農業者　4人×30千円＝120千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	×
①農業法人においては、３団体中３団体へ給付（給付率100％） ②対象者（「江差町水田農業フル活用ビジョン」の取組を行っている農業者のうち７６名中６９名が対象）においては６９名へ給付（給付率100％） ③上記①、②以外の農業者においては、３０名中４名へ給付（経営所得安定対策等への未申請者）（給付率13.3％） 本給付事業は「今後の農業経営に対する不安が多い中、次期の作付けに向けて耕作を担うために持続可能な農業経営に資する」ことを目的としており、給付を受けた農業法人・農業者は営農を継続していることから効果は達成できたと考える。		

年度	R2 （繰越）	担当課	まちづくり推進課		
計画No	56	事業名	キャッシュレス決済導入支援		
実績額	6,138,000	事業期間	R3.4.22	～	R4.2.25
交付金充当額	6,138,000				
対象	町内各商工業者				

目的
キャッシュレス決済は、現金に触れないため衛生的であり、従業員と顧客の接触機会を減らすという観点からも、新型コロナウイルス感染症等が流行しにくい環境の構築につながる。また、ポイント付与等を通じて、消費喚起や地域イベント参加へ効率的・効果的であることから、新型コロナウイルス感染症終息後の経済対策にもつながる。

事業実施状況
キャッシュレス決済推進に伴う費用 ・端末購入代金　120千円×4台×1.1（消費税）＝528千円 ・カード印刷費用　80円×10,000枚×1.1（消費税）＝880千円 ・追分カード・えさしポイントカード会補助金＝4,730千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
①追分カード・えさしポイントカード会員３９事業者のうち３６事業者が移行。 ②追分カード・えさしポイントカード会で運用していた従来のポイント端末機が老朽化のため、地域還元型のキャッシュレスカード「江差ＥＺＯＣＡ」（チャージ型ポイントカード）を導入。道内のサツドラ店舗で江差ＥＺＯＣＡを利用した場合、購入金額の0.2%分が地域へ還元されるため、地域経済循環の強化が期待される。併せて、移行した町内加盟店でのポイント付与が可能となり販売促進と地域経済の振興が期待される。また、江差町内における地域活動の活性化と町民の健康意識の向上を図る事業を実施した場合に地域づくりポイントとして参加者に発行することで、町の活性化と医療費、介護費の抑制につなげる仕組みを構築した。		

年度	R2（繰越）	担当課	まちづくり推進課
計画No	56	事業名	キャッシュレス決済導入支援
資料			

整備備品

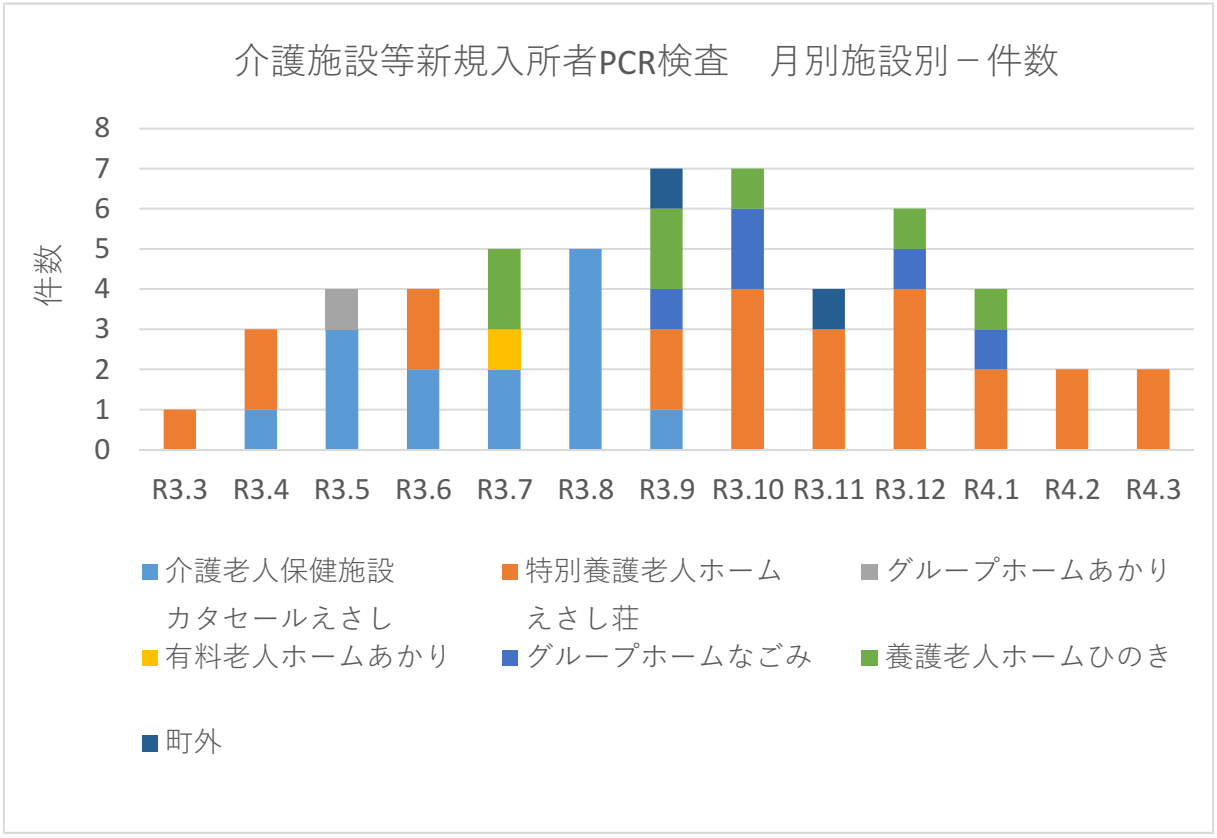
年度	R2 （繰越）	担当課	高齢あんしん課		
計画No	59	事業名	介護施設等新規入所者PCR検査事業		
実績額	1,083,940	事業期間	R3.3.1	～	R4.3.31
交付金充当額	1,062,000				
対象	新たに介護施設等へ入所する者及び短期入所を利用する者				

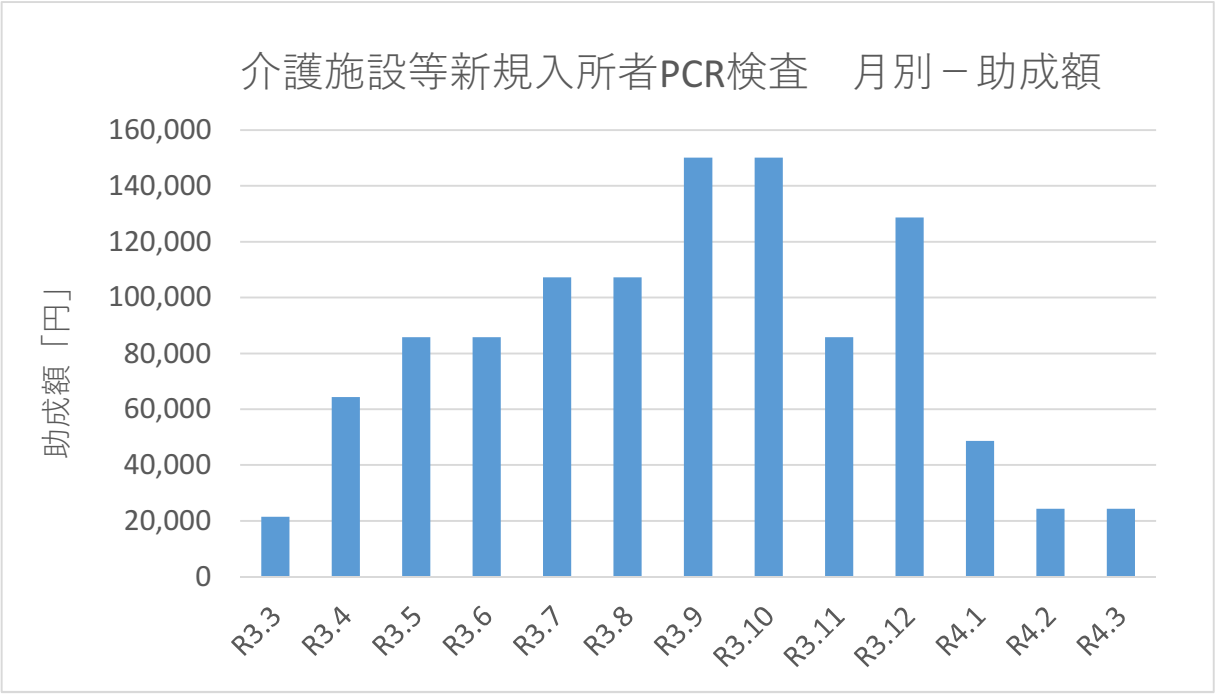
目的
介護施設等に新たに入所または短期入所する者に対してPCR検査を行うことでコロナウイルス感染拡大防止を図るとともに、クラスターの発生を未然に防止する。

事業実施状況
PCR検査に係る助成費用 ・21,450円×46件（R3.3～R3.12）＝ 986,700円 ・12,155円×8件（R4.1～R4.3）＝ 97,240円 計 1,083,940円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
新たに入所または短期入所する者で施設から要請のあった対象者全てに助成することができ、入所等する者が事前に検査を受けることで施設のクラスター発生を未然に防ぐことができた。		

年度	R2（繰越）	担当課	高齢あんしん課
計画No	56	事業名	介護施設等新規入所者PCR検査事業
資料			





年度	R2 （繰越）	担当課	総務課		
計画No	64	事業名	高度無線環境整備推進		
実績額	47,529,000	事業期間	R2.6.18	～	R4.3.31
交付金充当額	37,931,000				
対象	江差町北部地域ほか				

目的
新型コロナウイルス禍の「新たな日常」への対応に向け、情報通信基盤を整備することで情報格差を是正するとともに、情報通信基盤教育や医療、農業などの分野において情報通信技術の活用を図る。

事業実施状況
民間事業者に対する光回線整備費の一部を負担。 高度無線環境整備推進事業整備費負担金 ・補助事業費83,600千円 内訳：国補助27,866千円、町負担47,529千円、事業者負担8,205千円 ・町負担47,529千円 内訳：補助裏臨時交付金37,229千円、過疎債10,300千円、一財36千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
江差町内37地区のうち22地区において光回線未整備の区域があり、なかでも北部の５地区については整備率が０％であった。これらの地区に対して本事業で光回線敷設工事が行われ、町内全域での光回線敷設率は100％となり、インターネット利用に係る高速ブロードバンド環境の町内格差は解消された。		

年度	R2（繰越）	担当課	総務課
計画No	64	事業名	高度無線環境整備推進
資料			

◆光ケーブル整備距離：地下 2,329ｍ、架空 32,427ｍ

◆整備地区（計22地区）

①字五厘沢町、②字水堀町、③字鰔川町、④字朝日町、⑤字越前町、⑥字中網町、
⑦字小黒部町、⑧字大澗町、 ⑨字愛宕町、⑩字豊川町、⑪字桧岱、⑫字東山、⑬字中歌町、
⑭字姥神町、⑮字鴎島 、 ⑯字緑丘、⑰字陣屋町、⑱字海岸町、⑲字南浜町、⑳字柏町、

整備地区見取り図①

整備地区見取り図②

年度	R2（繰越）	担当課	総務課
計画No	64	事業名	高度無線環境整備推進
資料			

整備地区見取り図③

年度	R2 （繰越）	担当課	学校教育課		
計画No	67	事業名	学校感染症対策等の学校教育活動継続支援事業		
実績額	4,189,082	事業期間	R3.7.1	～	R4.3.14
交付金充当額	2,188,000				
対象	町内小中学校				

目的
冬季における感染拡大のリスクを最小限にするため学校における感染症対策を強化するために必要となる保健衛生用品等の購入経費の支援と、夏季休業期間の短縮等により研修機会を逸した教職員に対し、新型コロナウイルス感染症対策等にも資する研修等に参加するために必要な経費を支援する。

事業実施状況
保健衛生用品等の購入経費支援、教職員の資質向上のための参考図書購入等支援、子供たちの学習保障支援 学校保健特別対策事業費補助金における都道府県事務費の補助上限額により算出 ・補助上限額400千円×5校＝2,000千円 ・補助残額2,188千円については「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を充当

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
①感染リスク低減の観点 　児童生徒が集団生活を行う学校現場において、感染症対策を強化するために必要な保健衛生用品（消毒用アルコール、薬用石けん、加湿器、暖房器具、ファンヒーター、ディスカッション用パーテーション）の整備を行い、児童生徒に対する感染リスクの低減に必要な正しい知識の普及啓発・実践により感染リスクの低減が図られた。 ②研修などの内容 　コロナ禍において夏季休業期間の短縮等により研修機会を逸した教職員に対し、新型コロナウイルス感染症対策等にも資する教職員用図書（ＧＩＧＡスクールで実現する新しい学び　他１６冊）の整備及び学習保障備品（ビデオカメラ、三脚、収音マイク　他）の整備により、ＩＣＴを活用した研修機会の確保が図られた。		

年度	R2(繰越)	担当課	学校教育課
計画No	67	事業名	学校感染症対策等の学校教育活動継続支援事業

研修風景

年度	R3	担当課	追分観光課		
計画No	1	事業名	「江差割」宿泊キャンペーン		
実績額	7,310,000	事業期間	R3.4.2	～	R4.3.11
交付金充当額	7,310,000				
対象	宿泊業者				

目的

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ旅行需要の早期回復を図るため、町内の宿泊施設が料金を割引した場合に交付する支援金により、観光客の増加を図る。

事業実施状況

委託費：7,310千円（観光コンベンション協会が交付事務を実施し各宿泊施設へ支援金を交付）

「江差割」宿泊支援業務実績

○実施期間　　令和３年4月2日～令和４年3月11日（コロナ禍により一時制限あり）

○参加宿泊施設数　8施設（１施設利用なし）

○支援宿泊実績数　１，２０２泊分（６４市町村延べ１，２０２人利用）

○支援金総額　　７，１９９，０００円

○事務手数料　　１１１，０００円

○事業周知広報活動 全道ラジオスポット（20回）観光協会フェイスブック、函館蔦屋書店イベント内でのＰＲ他

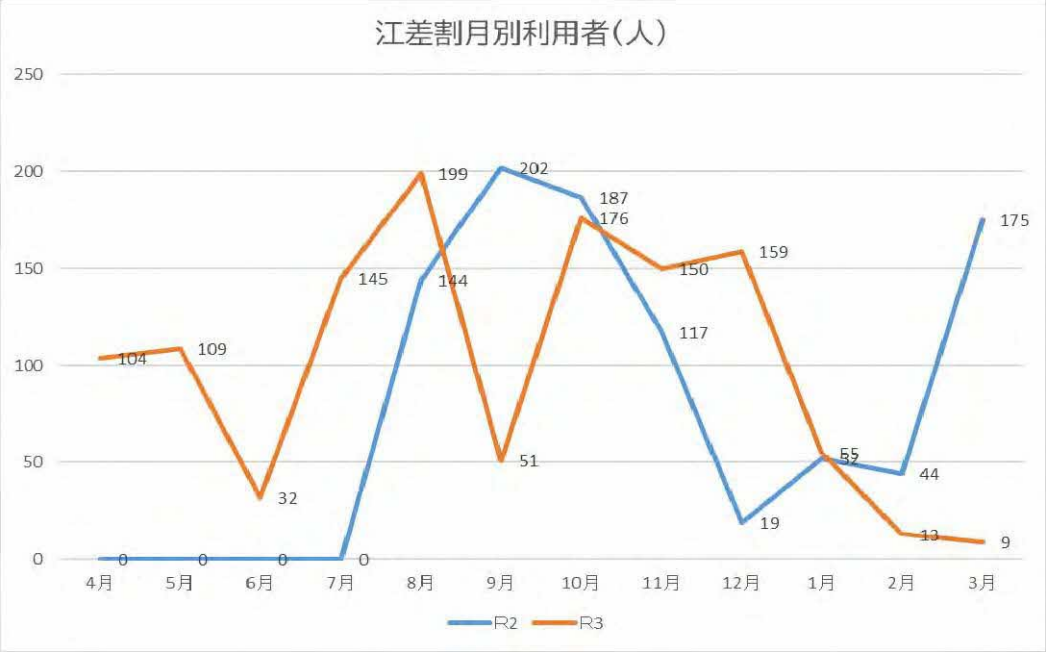
事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○

R3「江差割」利用者実績の地方圏域での推移及び傾向をみると、檜山・渡島地方圏利用者で669人（55.65%）と半数以上を占めており、日帰り圏内での利用が多く、檜山圏域184人では奥尻町利用者150人（81.52%・月平均12.50人）となっており、渡島圏域では函館市379人（78.14%・月平均31.58人）となっており、観光目的ではなく仕事での利用が多いことが推測される。また、石狩圏域297人（24.70%）となっており、圏域の中でも札幌市利用者が245名と石狩圏域利用者の82.49%を占めており、渡島・檜山圏域と同じく観光目的ではなくビジネス利用が多いと推測される。渡島・檜山・石狩圏域をあわせると966人（80.36%）となり、ビジネス関係での宿泊拠点として来町が多いと考えられる。

また、経済圏域でみた場合、公共交通機関の利便性や移動距離、これに伴う時間とコストの関係から道北・道東からの利用者が94人となっており、全体の7.82%と低く、５月～10月までの利用者が73名となっている。観光的視点から、江差の観光シーズンを桜の開花とともに観光シーズンが始まる５月から海水浴など海に関連するシーズンを９月末までの５か月と仮定した場合でも、利用者が536人（44.59%・月平均107.2人）と期待するほど利用者が伸びていない状況にあり、利用率が町内宿泊施設定員数の３%程度と推測される。

このことから、実績を踏まえると公共工事などビジネス目的での利用などが多く、これに伴う長期滞在連泊により観光目的での利用率が伸び悩み、町内宿泊事業者で一極化（宿泊事業者に等しく支援が行き渡っていない）の傾向があり江差割の均等・平準化が課題となっている。このため、次年度以降において実施するのであれば支援策を見直すことによる更なる地域経済への支援を推進する必要が求められる。例として、道民割（HOKKAIDO LOVE割）と制度内容などを類似のものとして、その時期に実施されている国や道の支援と併せ事業者の混乱を軽減。宿泊事業者への支援は連泊も含め一律〇〇泊分（枠配分）までと平準化し、宿泊利用者に対し１泊〇千円の江差町内飲食店・お土産店等での使用可能な地域クーポン（町内道民割クーポン取扱店21店舗（飲食6・小売店4・海上運送1・コンビニ5・その他5）を配布する等、地域での旅行需要の回復を図るよう見直しが必要である。

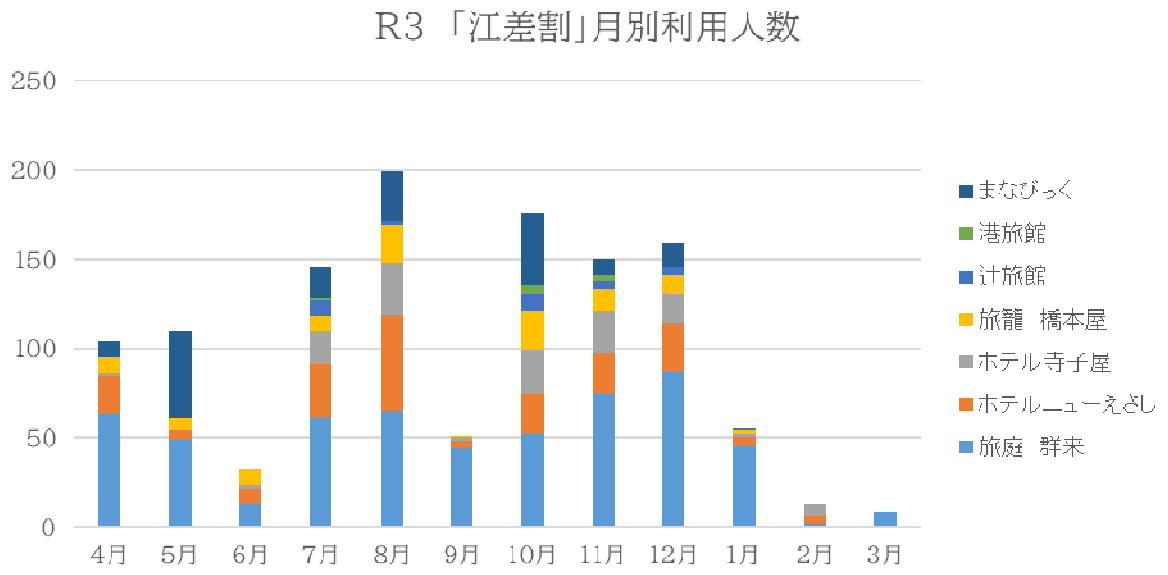
	R3	担当課	追分観光課
計画No	1	事業名	「江差割」宿泊キャンペーン

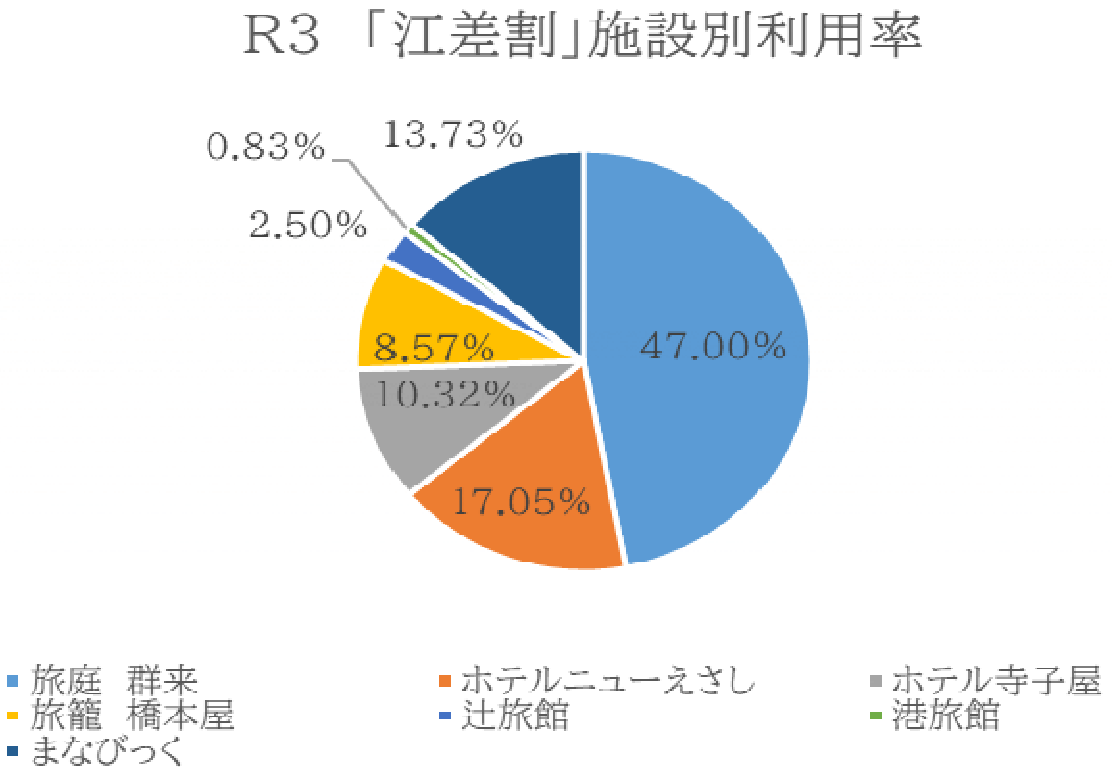


利用者数	R2	R3
4月	0	104
5月	0	109
6月	0	32
7月	0	145
8月	144	199
9月	202	51
10月	187	176
11月	117	150
12月	19	159
1月	52	55
2月	44	13
3月	175	9
	940	1,202

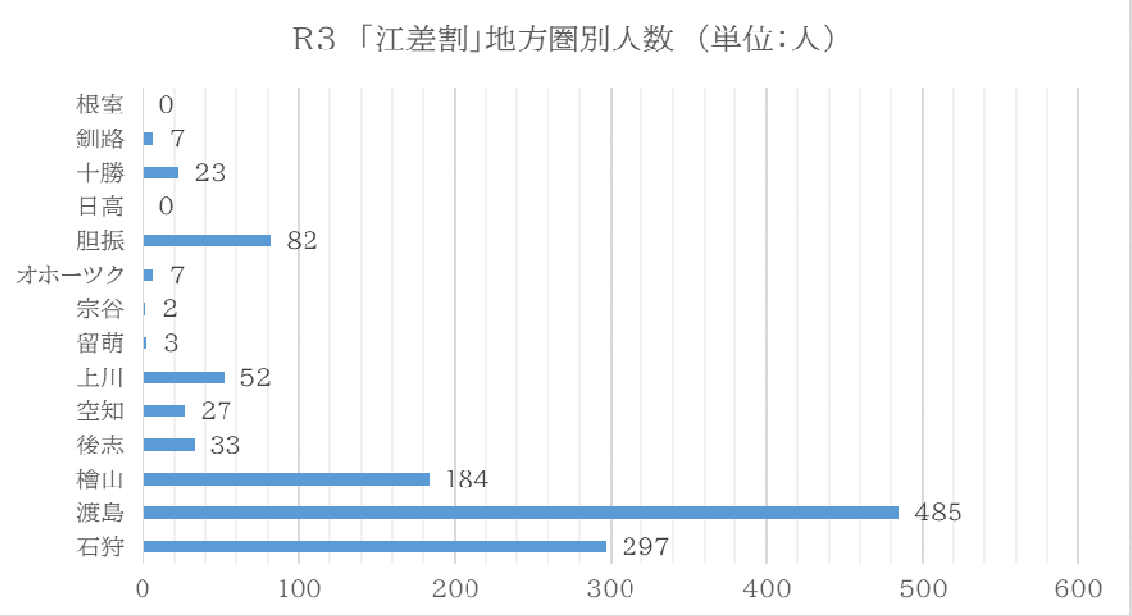
支援金額	R2	R3
4月	0	726,000
5月	0	564,000
6月	0	187,000
7月	0	835,000
8月	310,000	1,015,000
9月	488,000	470,000
10月	495,000	810,000
11月	305,000	913,000
12月	106,000	1,056,000
1月	247,000	480,000
2月	302,000	53,000
3月	935,500	90,000
	3,188,500	7,199,000

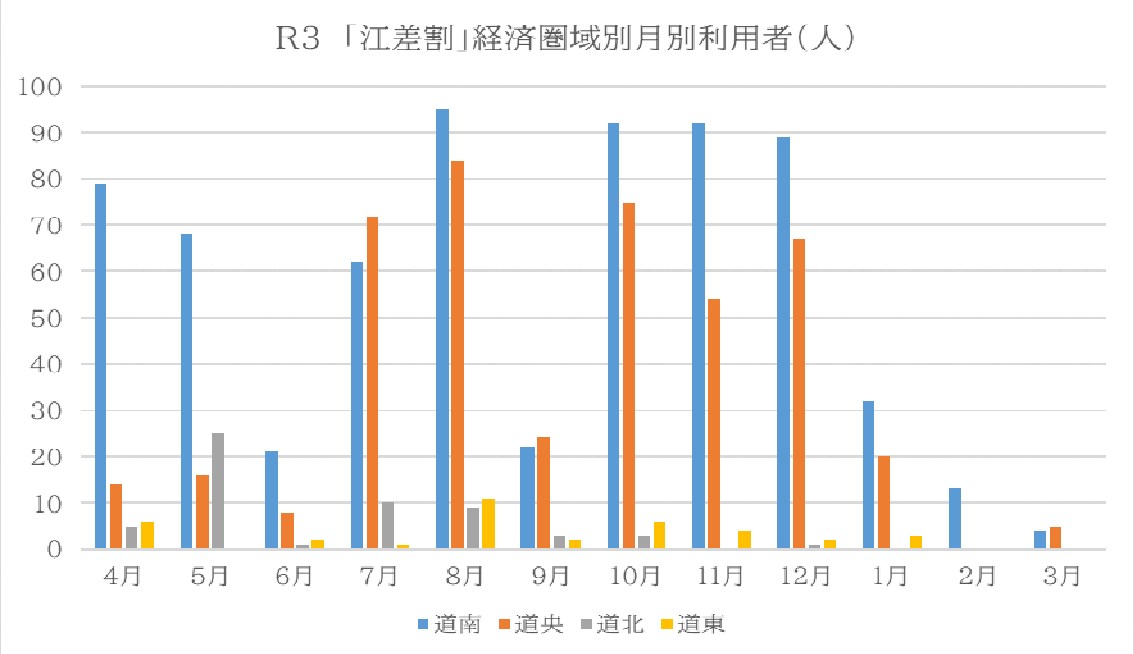
年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	1	事業名	「江差割」宿泊キャンペーン



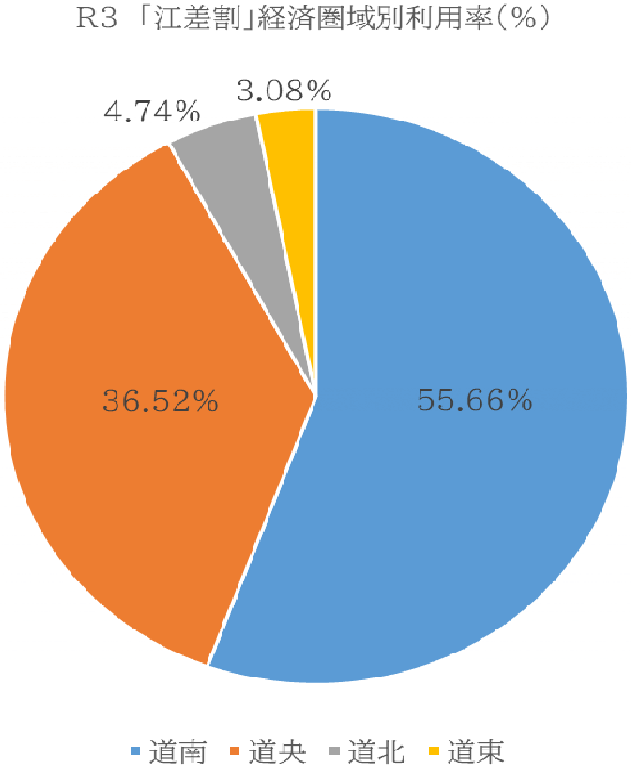


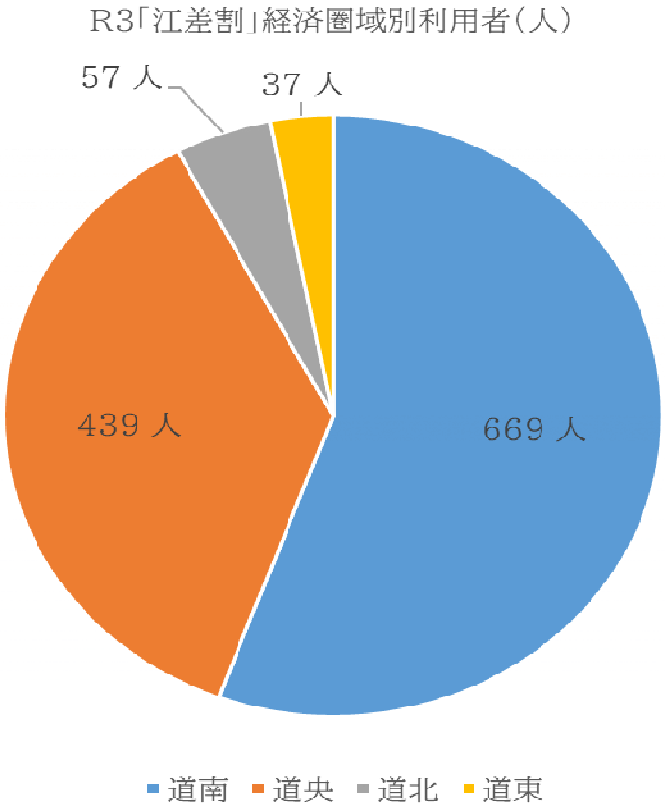
年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	1	事業名	「江差割」宿泊キャンペーン



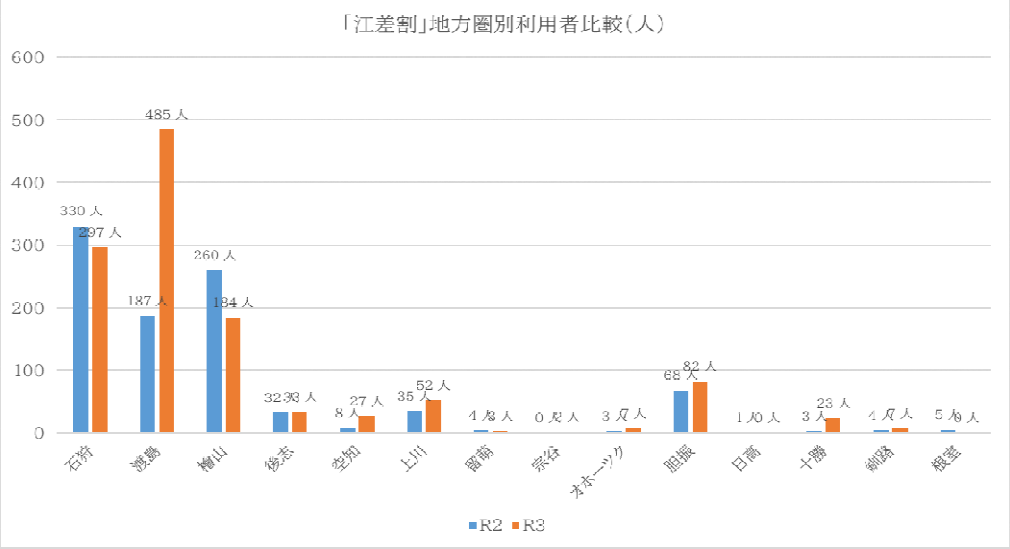


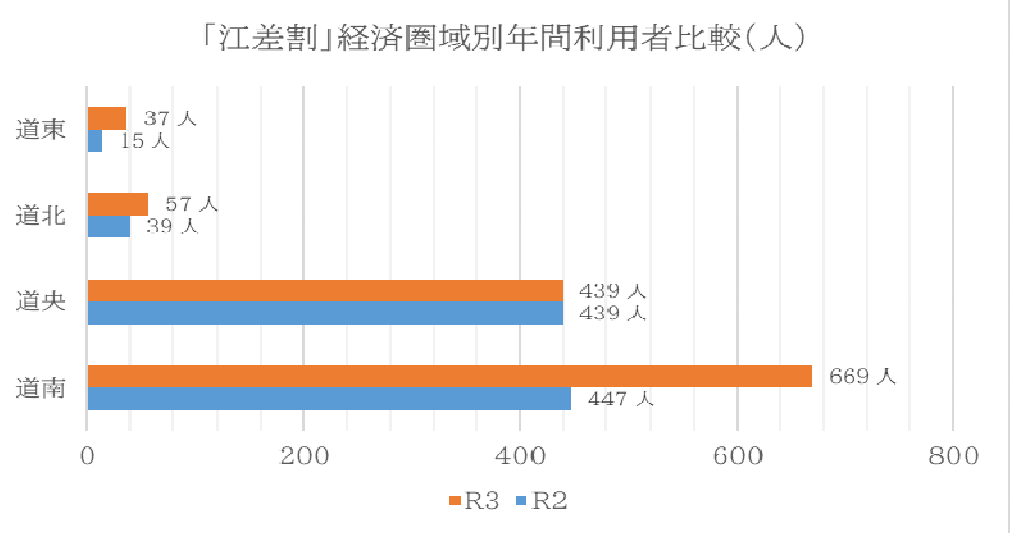
年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	1	事業名	「江差割」宿泊キャンペーン

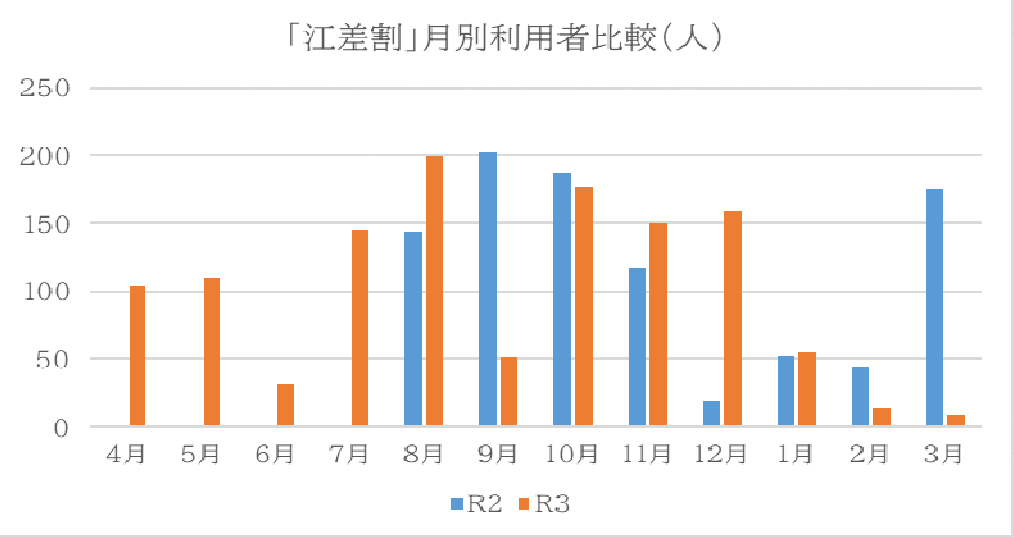




年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	1	事業名	「江差割」宿泊キャンペーン







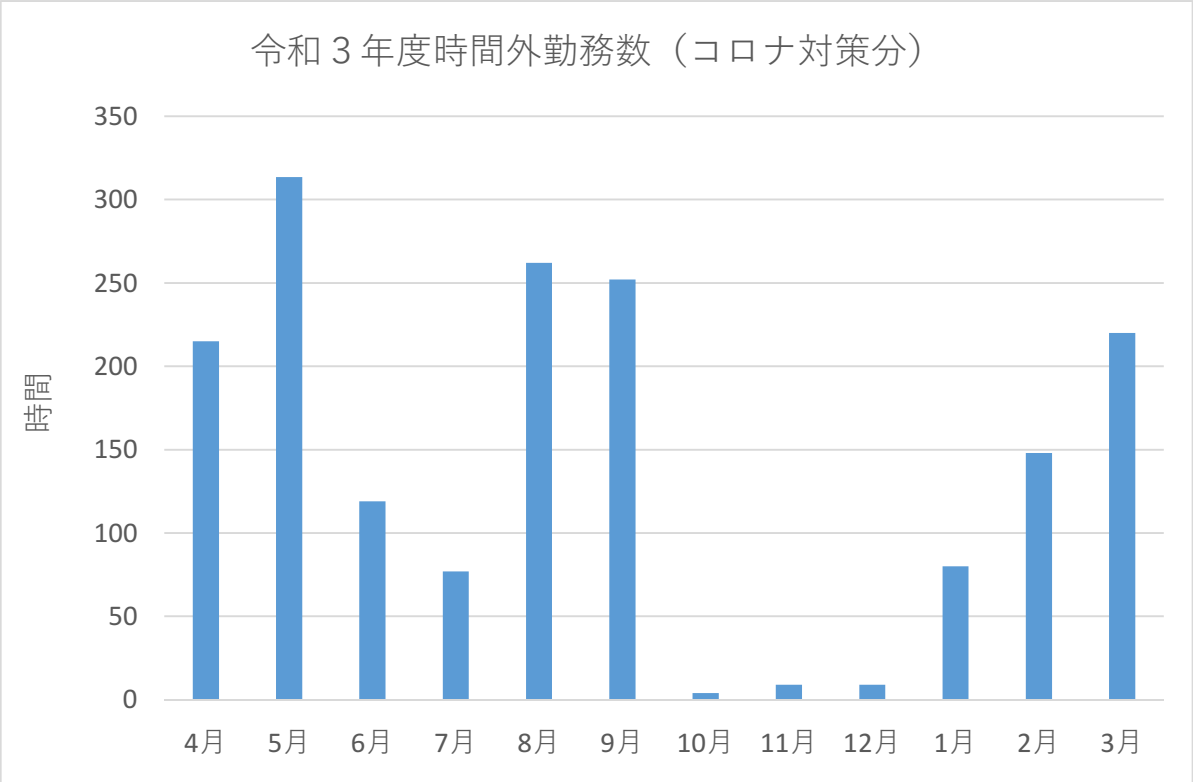
年度	R3	担当課	総務課		
計画No	2	事業名	職員人件費（一般管理費分）		
実績額	2,850,000	事業期間	R3.4.1	～	R4.3.31
交付金充当額	2,850,000				
対象	常勤職員　等				

目的
新型コロナウイルス感染症対応のための常勤職員の時間外手当等 ●ワクチン接種にかかる業務 ●新型コロナ関連の住民周知業務　等

事業実施状況
職員人件費（交付金対象分） ・職員時間外手当：1,950千円 ・会計年度任用職員：561千円 ・管理職特別勤務手当：339千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
①町民に対する新型コロナウイルスワクチン接種の職員による体制を万全にしたことで、希望する対象者へ迅速に、また会場内での運営もスムーズに行うことができ、ワクチン接種の速やかな実施をすることができた。 ②新型コロナウイルスの関連情報や管内の感染状況をＬＩＮＥ等のＳＮＳを活用して周知することで、町民に対して町内における現況を速やかにお知らせすることができた。		

年度	R3	担当課	総務課
計画No	2	事業名	職員人件費（一般管理費分）
資料			



年度	R3	担当課	まちづくり推進課		
計画No	3	事業名	新型コロナウイルス関連周知		
実績額	1,235,130	事業期間	R3.6.15	～	R4.3.4
交付金充当額	1,235,000				
対象	江差町民				

目的
地域住民に対して、新型コロナウイルス感染症に関する情報発信し、広報紙やチラシを通じてコロナ禍の状況に合わせた感染予防等の啓発を行うための経費。

事業実施状況
新型コロナウイルス感染予防について注意喚起に係る経費 ・消耗品（カラーペーパー14箱、スズランテープ２個）：95,260円 ・印刷製本：390,456円 広報えさし掲載　１枚3.52円×８頁×4,350部 令和２年度及び令和３年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生 臨時交付金活用事業に係る広報用パンフレット印刷業務　4,350部 ・配布委託（６回７枚）：749,414円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
約4,000世帯に対して広報配布員を活用し６回７枚のポスティングを実施。情報収集方法が多様化する中で新型コロナウイルスやワクチン接種に関するタイムリーな情報をチラシで届けることにより、情報収集手段が限られている高齢者などに対しても確実に手に触れることから、情報格差が生じることなく地域全体へ情報発信を行った。 また、令和２年度及び令和３年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業の広報用パンフレットを作成し配布したほか、ワクチンの接種状況などを広報紙へ掲載し、新型コロナウイルスに関する取り組みの見える化を行った。		

年度	R3	担当課	まちづくり推進課
計画No	3	事業名	新型コロナウイルス関連周知
資料			

発行物の写真

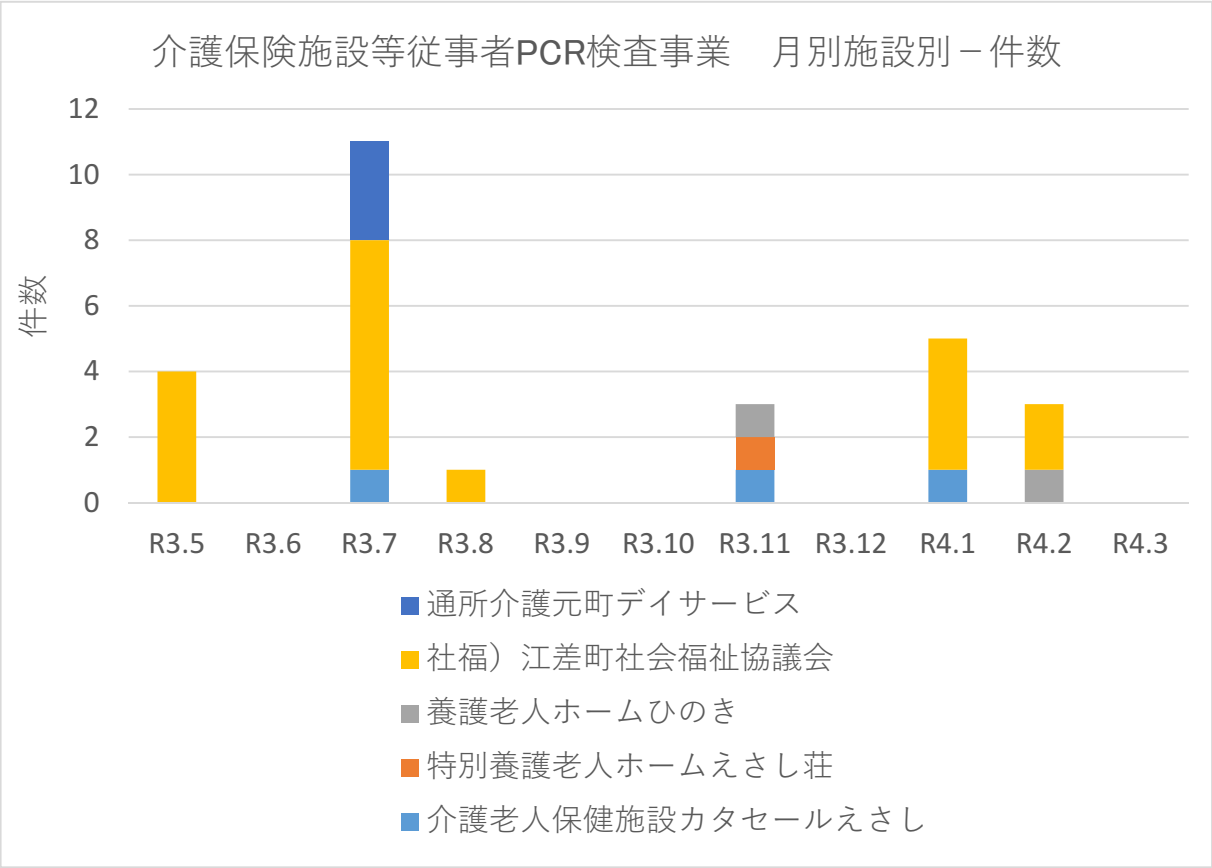
年度	R3	担当課	高齢あんしん課
計画No	4	事業名	高齢者施設及び介護保険施設等従事者ＰＣＲ検査
実績額	504,790	事業期間	R3.5.17　～　R4.3.31
交付金充当額	504,000		
対象	町内高齢者施設及び介護保険施設等に従事する者のうち、感染流行地域へのやむを得ない往来または、感染流行地域からの来訪者と接触したことを理由に、対象事業所から自宅待機を命じられた者及び対象事業所の施設内で勤務する予定の新規採用者		

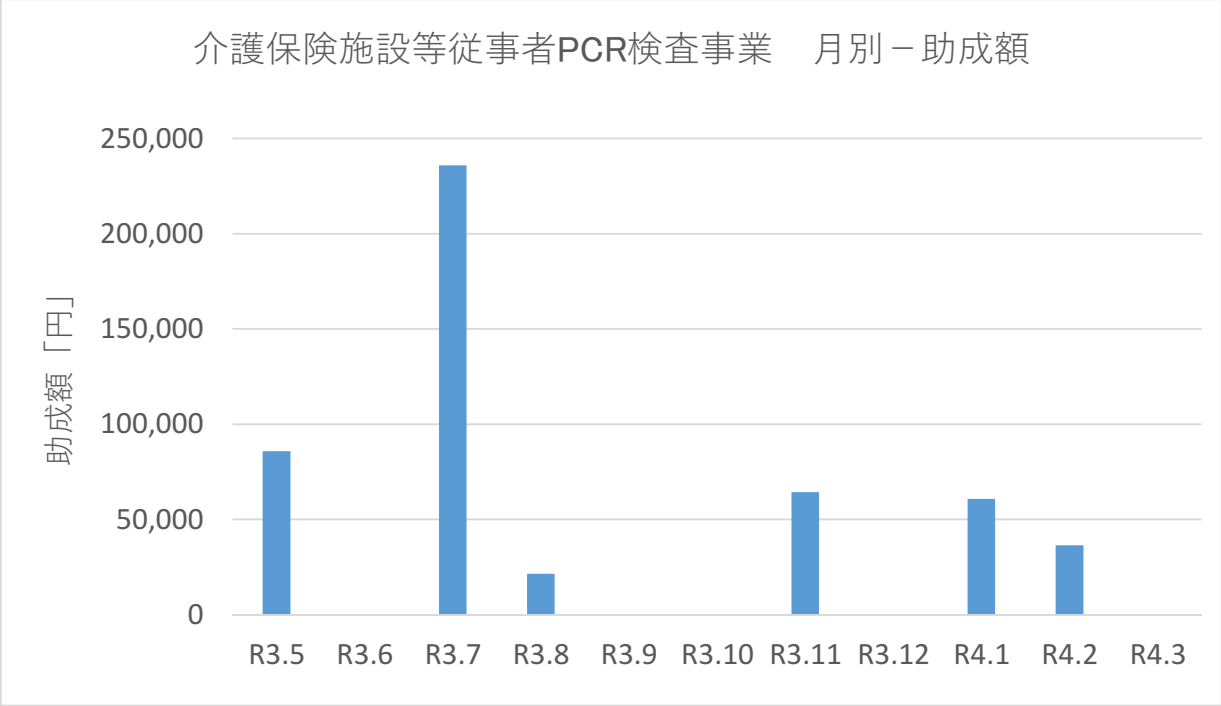
目的
町内の高齢者施設及び介護保険施設等に従事する者がPCR検査を受検することで職場環境の負担及び職員の精神的負担の軽減を支援し、併せて施設入所者及び訪問先の高齢者への感染拡大防止を図る。

事業実施状況
PCR検査経費 ・21,450円×19件（R3.5～R3.12）＝ 407,550円 ・12,155円×8件（R4.1～R4.3）＝　97,240円 計　504,790円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
町内の高齢者施設及び介護保険施設等に従事する者で要請のあった対象者全てに助成することができ、職場環境の負担及び職員の精神的負担の軽減と感染拡大防止を図ることができた。		

年度	R3	担当課	高齢あんしん課
計画No	4	事業名	高齢者施設及び介護保険施設等従事者ＰＣＲ検査
資料			





年度	R3	担当課	産業振興課		
計画No	5	事業名	“第2弾”事業継続支援緊急給付金		
実績額	29,000,000	事業期間	R3.6.17	～	R3.12.15
交付金充当額	29,000,000				
対象	町内事業者				

目的
コロナ禍のなか、前向きに事業継続に取り組む町内の中小企業事業者に対し、事業継続の下支えや感染拡大防止対策等、事業全般に広く使える支援金を支給。

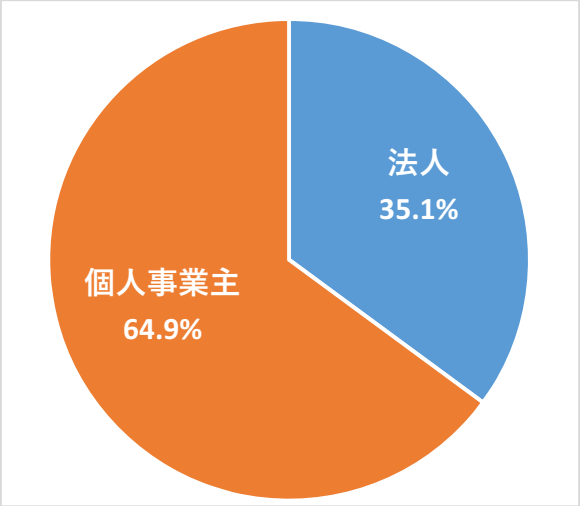
事業実施状況
支援金 町内154事業者　136業者×200千円+18業者×100千円 ＝29,000千円 ・令和元年又は令和２年の事業収入が60万円以上180万円未満の事業者へ一律10万円 ・令和元年又は令和２年の事業収入が180万円以上の事業者へ一律20万円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大による消費の落ち込み等により売上が減少し、経営の安定に支障が生じている中小企業者への支援を実施することにより、町内での事業活動の継続、社会経済活動の下支えが図られている。 （申請者は、感染リスクの低減の取組、町内での事業活動の継続を誓約）		

年度	R3	担当課	産業振興課
計画No	5	事業名	“第2弾”事業継続支援緊急給付金
資料			

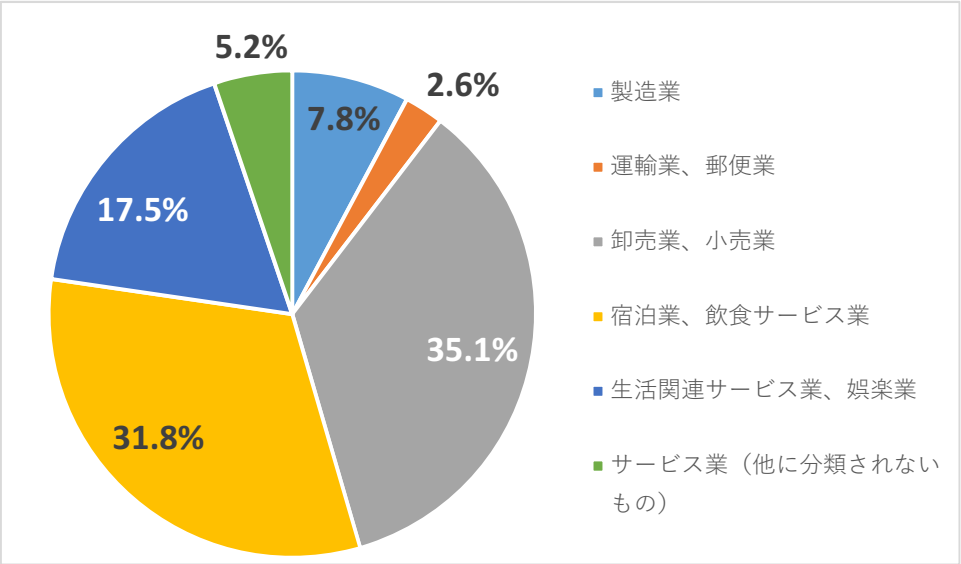
（１）法人・個人別支給決定状況

事業者区分	事業者数	割合
法人	54	35.1%
個人事業主	100	64.9%
計	154	



（２）産業分類別支給決定状況

事業者区分	事業者数	割合
製造業	12	7.8%
運輸業、郵便業	4	2.6%
卸売業、小売業	54	35.1%
宿泊業、飲食サービス業	49	31.8%
生活関連サービス業、娯楽業	27	17.5%
サービス業（他に分類されない	8	5.2%
計	154	



年度	R3	担当課	産業振興課		
計画No	6	事業名	地域経済活性化支援補助		
実績額	2,100,000	事業期間	R3.6.24	～	R4.3.31
交付金充当額	2,100,000				
対象	江差商工会				

目的
新型コロナウイルスにより地域経済が大きな影響を受けていることを踏まえ、昨年度実施計画にて採択を受け実施した地域経済動向調査の追跡調査を行い、今後の適切かつ効果的な諸施策を推進するための基礎資料とすることを目的とする。

事業実施状況
補助金 ・地域経済動向調査の実施　1,103千円 ・感染防止の取組　997千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
調査結果より、新型コロナウイルス感染拡大による経営環境への影響が継続していることが確認できる。これまでの町の経済対策への評価や今後の支援に関する意見、要望を吸い上げることにより、令和４年度の施策への反映も行っている（ウィズコロナ対応支援助成金の創設など）。		

年度	R3	担当課	産業振興課		
計画No	7	事業名	商店街地域拠点施設感染防止対策支援		
実績額	298,700	事業期間	R3.6.23	～	R4.3.31
交付金充当額	298,000				
対象	江差町内任意団体				

目的
地域コミュニティ等のつながりを保ち続けることを目的に、商店街地域の拠点施設が取り組む新型コロナウィルス感染症対策について支援を行う。

事業実施状況
対象団体へ補助（10/10）　3団体、298,700円 ・補助対象経費）非接触体温計、アクリル板などの設置、 マスク、消毒液等の衛生用品等

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
・対象団体３団体すべてが補助申請 （寄伝家、かあちゃん食堂たまりば、皐月蔵チャミセ） ・イベント時も含めた感染拡大防止、安全対策等に資する備品や消耗品の整備・購入により商店街拠点施設における感染防止等が図られている。		

年度	R3	担当課	産業振興課
計画No	7	事業名	商店街地域拠点施設感染防止対策支援
資料			

各拠点施設の整備物品（一部抜粋）

アクリル板（かあちゃん食堂）

間仕切り（チャミセ）

テーブル（寄伝家）

年度	R3	担当課	社会教育課		
計画No	8	事業名	図書館システム整備		
実績額	4,249,251	事業期間	R3.8.5	～	R4.3.31
交付金充当額	4,249,000				
対象	江差町図書館				

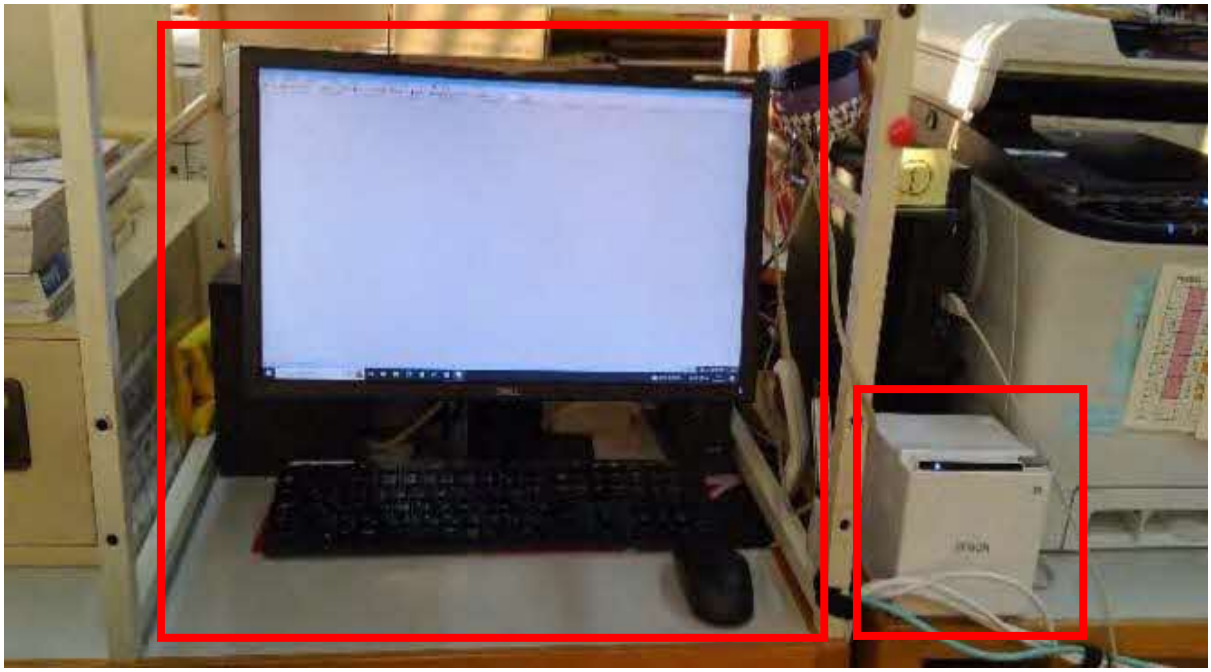
目的
図書館システムの導入を実施し、時間・場所を選ばずに蔵書検索・貸出予約等をできるようにし、利用者の利便性を向上させることにより、新型ウイルスの影響により外出を自粛する場合でも、システムを利用し予め検索・予約が可能となり、滞留時間の縮小や施設外における非対面での貸出が可能になるなど、外出時間を最小限にとどめることにより接触機会の削減による感染予防を目的とする

事業実施状況
システム導入経費 ・システム導入委託 機器整備、導入設定費用、保守、利用料一式　3,003千円 臨時職員　（入力作業7か月分　R3.9～R4.3）　1,247千円

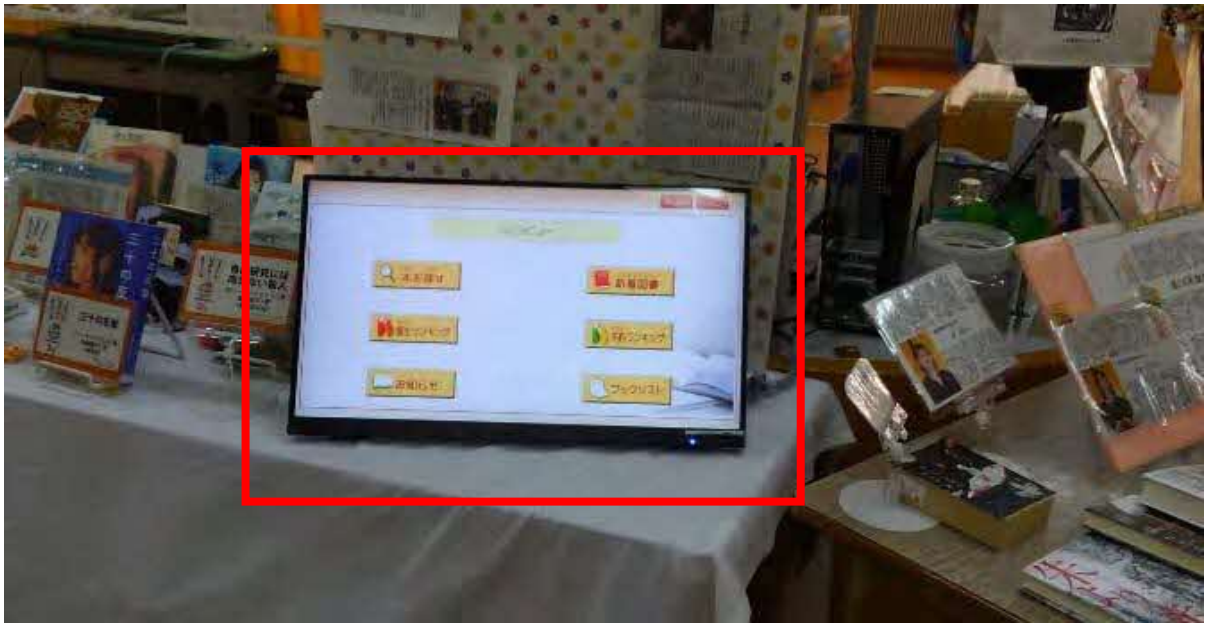
事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
来館者が蔵書検索が可能となったことで目的の蔵書の確認が容易になった。貸出・返却手続きもバーコード読取を活用することで職員との接触する機会の減少や時間が短縮されたことにより、感染リスクの低減が図られている。 またインターネット上で検索・予約が可能となったことにより、目的の本や関連する本を容易に探すことができ利便性の向上に大きく寄与している。 Ｒ３はシステム導入作業のためＲ４から運用。		

年度	R3	担当課	社会教育課
計画No	8	事業名	図書館システム整備
資料			

業務用端末と来場者通知用レシートプリンタ



来館者用検索端末（タッチパネル）



年度	R3	担当課	総務課		
計画No	9	事業名	指定避難所Wi-Fi環境整備		
実績額	1,034,000	事業期間	R3.8.12	～	R3.9.30
交付金充当額	1,034,000				
対象	江差町文化会館				

目的
指定避難所のうち、江差町文化会館は洪水・土砂・地震・津波いずれの災害リスクにも対応可能な避難者大規模収容施設であり、且つ役場庁舎が被災した際の代替庁舎第一候補でもある。 　この防災に資する重要施設において、感染症などの最新情報受発信通信手段を確保するために、現在のフリーWi-Fiを活用し、主に避難者の居住スペースとなる場所及び代替庁舎として利用する場合の災害対策本部職員執務スペースへＷｉ－Ｆｉ環境を整備（アクセスポイントを増設）し、感染症に強い防災拠点とする。

事業実施状況
Wi-Fi整備経費 ・情報通信キャビネット：49千円 ・アクセスポイント：219千円 ・PoE８HUB：31千円 ・LANケーブル：396千円 ・工事・設置：245千円 ・消費税：94千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
災害発生時は情報の取得・発信が重要となる。町の防災拠点である文化会館の各所にWi-Fiを整備することにより、災害対策本部職員、避難者がそれぞれの居住スペースで、災害情報のみならず、感染症情報等を取得することができる。また、避難者を感染症等に配慮して「一般避難者」、「要配慮者」、「体調不良者」に分け、それぞれを情報通信可能な専用のスペースに収容することが可能となり、感染症に強い防災拠点となった。		

年度	R3	担当課	総務課
計画No	9	事業名	指定避難所Wi-Fi環境整備
資料			

文化会館内の各無線アクセスポイント

大ホール

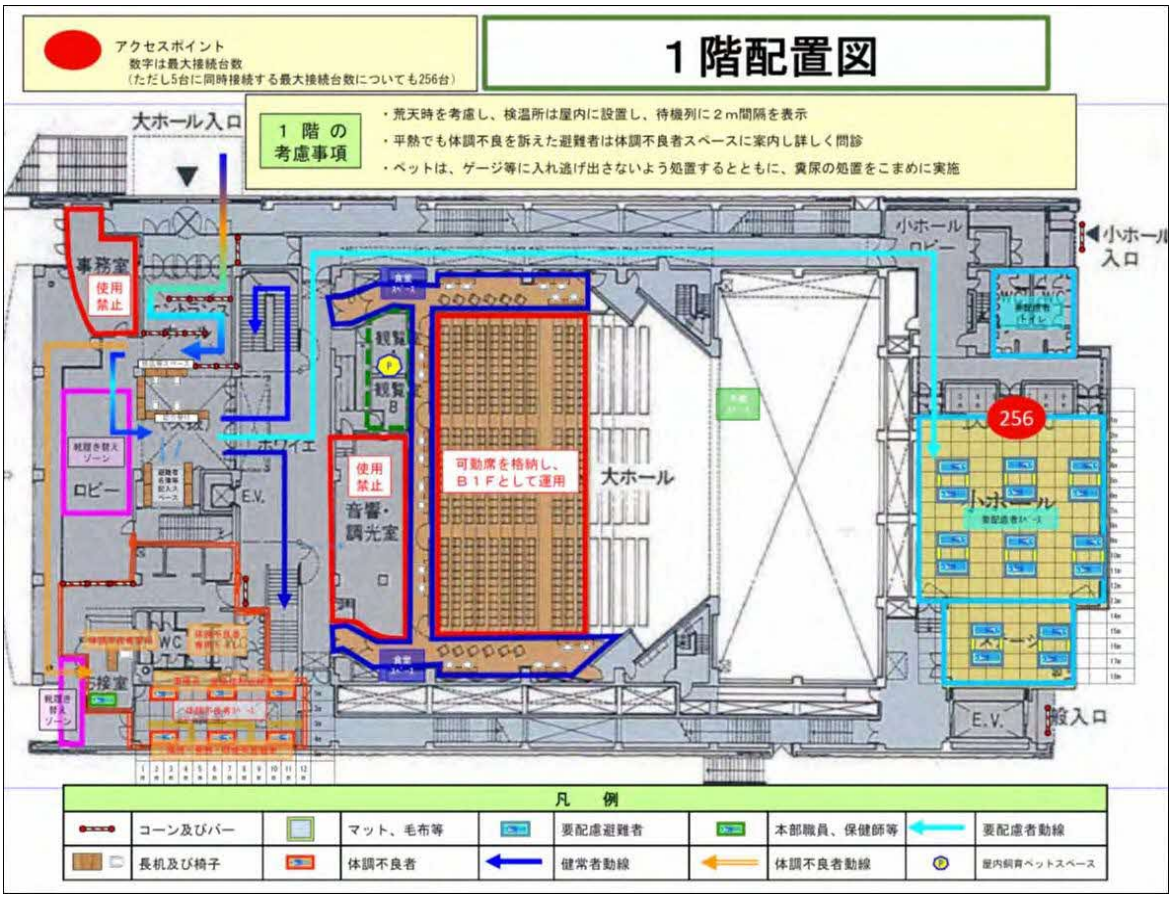
地下大ホール裏楽屋

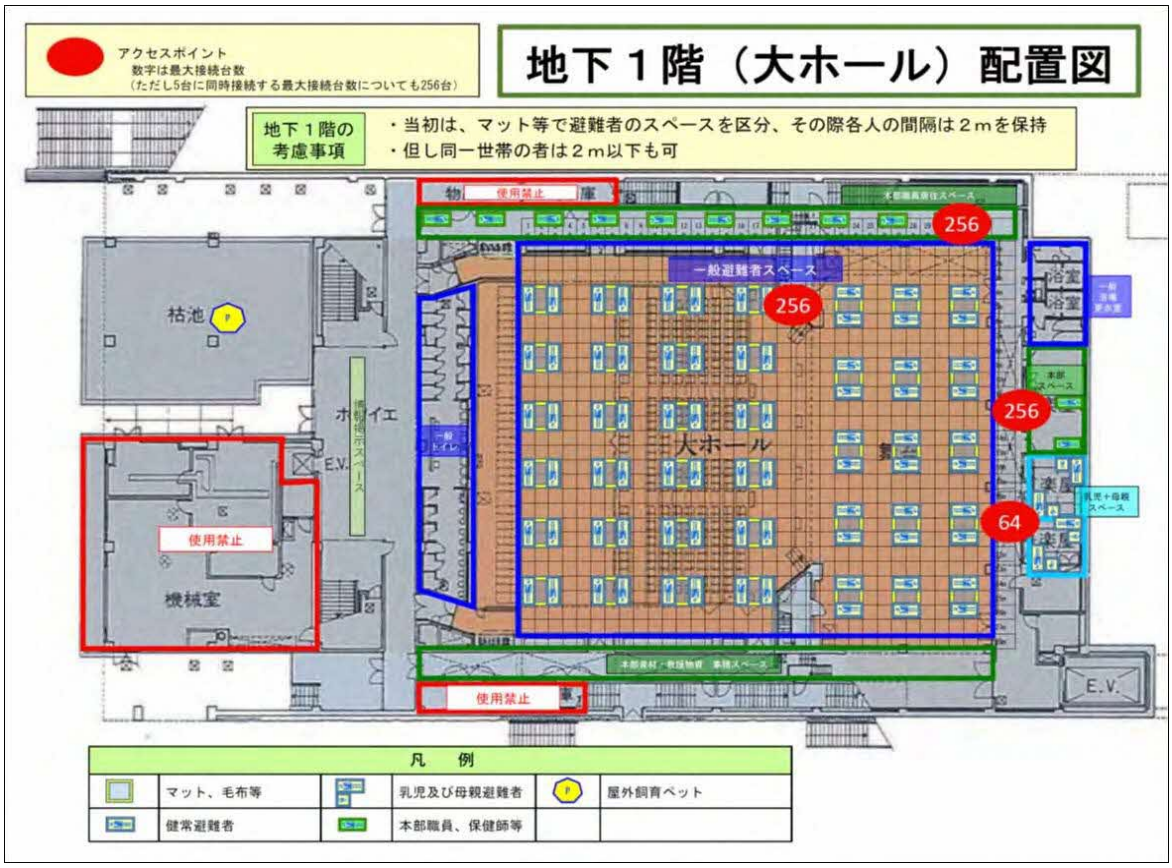
地下大ホール裏（舞台入口）廊下

地下大ホール横通路

小ホール

年度	R3	担当課	総務課
計画No	9	事業名	指定避難所Wi-Fi環境整備
資料			





年度	R3	担当課	総務課
計画No	10	事業名	①庁舎内飛沫感染防止対策 ②庁舎内飛沫感染防止対策（消毒作業）
実績額	406,469	事業期間	R3.5.9　～　R4.1.28
交付金充当額	406,000		
対象	役場庁舎		

目的
新型コロナウイルス感染予防対策として飛沫感染を防ぐため、執務室内及び会議室をビニールシートやアクリル板で仕切ることで、非対面方式とし、また公共施設で感染者が発生したときの消毒作業を委託し感染拡大防止を図る。

事業実施状況
感染防止対策経費 ・消耗品（塩化ビフィルム、アクリ建材等）99千円 ・委託料（役場庁舎・追分会館消毒）308千円

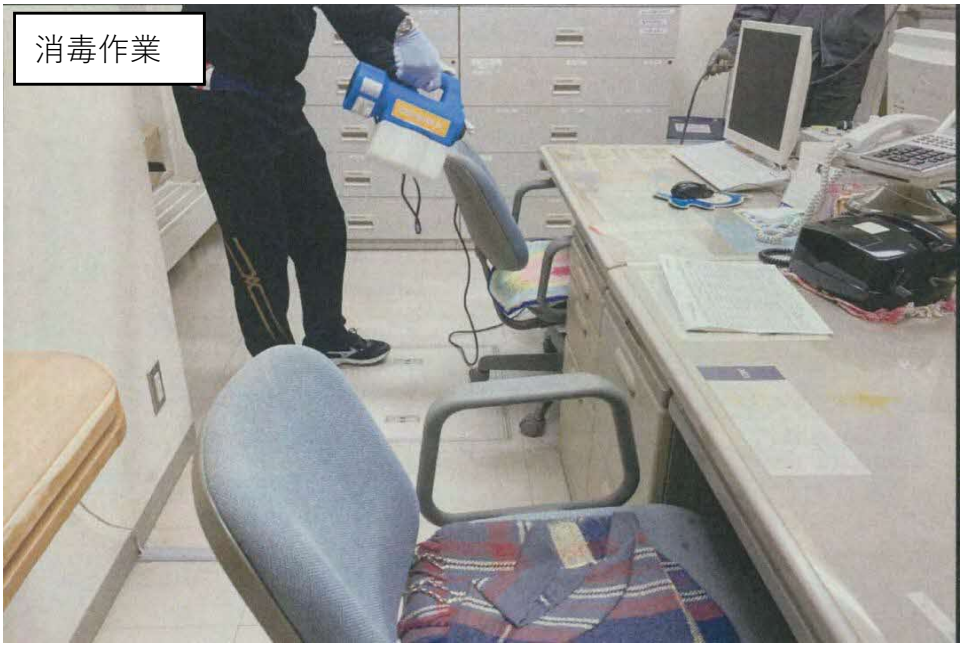
事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
①執務室における感染症拡大防止対策を実施したことで、職員間の距離の確保・飛沫防止を図ることができ、また、会議室においてはアクリル板による間仕切りにより、利用者間の人数に応じて感染症防止対策を図ることができた。 ②公共施設においてコロナ陽性者が発生した際、消毒作業を業者委託することにより、翌日には通常業務に戻ることができ、行政サービスへの影響を減少することができた。		

年度	R3	担当課	総務課
計画No	10	事業名	①庁舎内飛沫感染防止対策、②庁舎内飛沫感染防止対策（消毒作業）
資料			

アクリル板

ビニールシート

消毒作業



年度	R3	担当課	まちづくり推進課		
計画No	11	事業名	江差EZOCA普及促進		
実績額	1,315,077	事業期間	R3.7.12	～	R3.12.1
交付金充当額	1,315,000				
対象	北海道民				

目的
サツドラHD（株）との包括連携事業として新規発行した地域買い物カード「江差EZOCA」を全道に普及促進し、町内経済の好循環と関係人口増加につなげ、ポストコロナ時代の経済基盤を強化する。また、町民向けの江差EZOCA普及促進イベントを開催し、キャッシュレス決済の浸透によりレジの待ち時間の短縮や現金への接触頻度の減少につなげ、感染予防対策を図る。

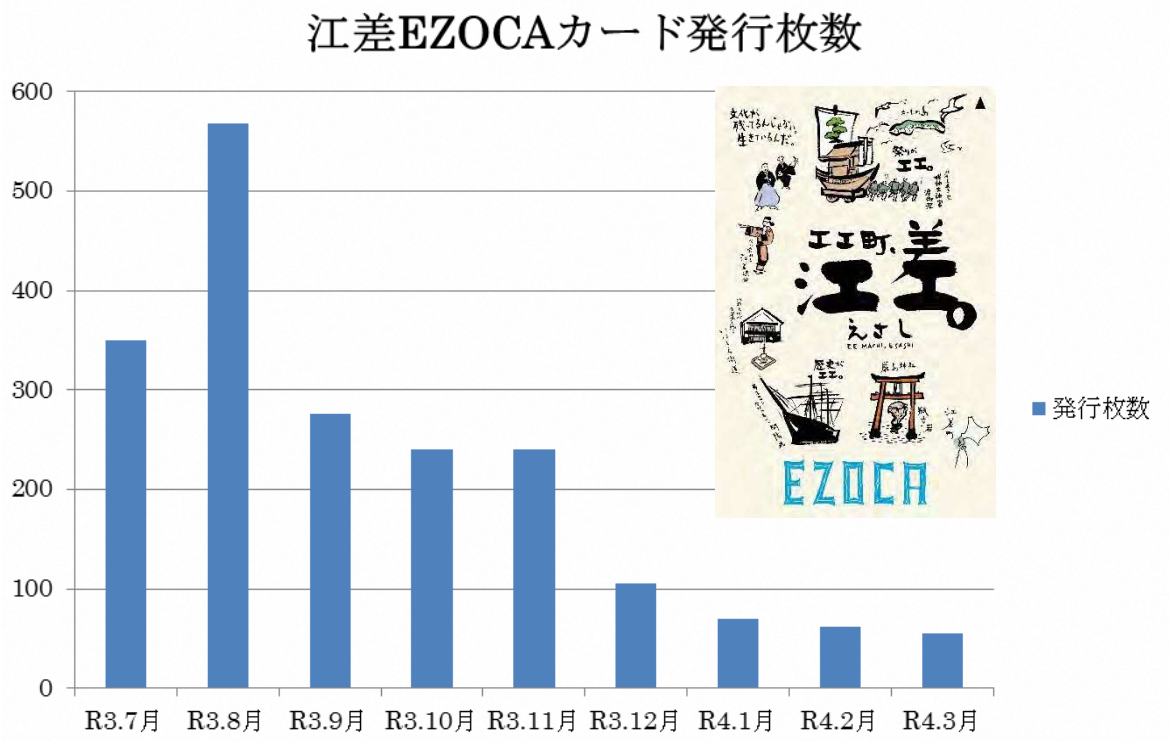
事業実施状況
「江差EZOCA」普及促進キャンペーンの実施 1）テーブル用横断幕製作費　44千円 2）札幌開催　10月25～26日「枝幸町×江差町物産展」　70千円 3）函館開催　10月30日　サツドラストア２店舗　83千円 4）キャッシュレス化推進イベント委託　1,118千円 ・キャッシュレス化イベント（ちらし印刷、ポイント発行等） ・啓発ＰＲ用のぼり等製作、加盟店への配布

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
サツドラHD(株)との包括連携事業として新規発行した地域買い物オリジナルカード「江差EZOCA」への新規獲得と既存EZOCAカードからの切替促進事業により、期間中の発行数が1,674枚と総発行数の約3割を占める効果が出たと評価される。 また、「江差EZOCA」は、北海道内にあるEZOCA提携店で利用することができ、町内の商店(約45店舗)も提携店として参加しているため、たまったポイントを買い物で使うことが可能で、カードを使えば使うほど地域経済の活性化（地域貢献）につながる。		

年度	R3	担当課	まちづくり推進課
計画No	11	事業名	江差EZOCA普及促進
資料			

札幌開催「江差町物産展」

切替イベントちらし



年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	12	事業名	江差追分「キズナ」プロジェクト
実績額	5,818,204	事業期間	R3.7.15　～　R4.3.30
交付金充当額	5,818,000		
対象	江差追分会		

目的
新型コロナウイルスに対応した「新しい生活様式に」に基づき「オンライン指導や動画配信」を行うとともに三密を回避しながら江差追分の普及伝承や魅力の発信強化、地域経済活性化に繋げる取組みを展開する。

事業実施状況
●実施主体：江差追分会 ●事業費：補助金5,818千円 ①江差追分オンライン～人・唄魅力発信事業～（事業費：2,386千円） ②聖地で完全燃焼！中３最後の秋～魂の唄・江差追分思い出発表会～ （事業費：1,185千円） ③本場で学ぼう！Go To Study ～江差追分セミナー事業～（事業費：587千円） ④コロナ感染対策物品購入（事業費：1,660千円） ※各事業の詳細については、次ページ以降のとおり

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
コロナ禍によりSNS等を活用した「オンライン指導や動画配信」、「動画による中３発表会」、また、三密を回避しながら感染対策（空気除菌器やパーテーション等）を講じた中で現地「江差町」での「江差追分セミナー開催」など、国内外で江差追分を愛好している追分会会員（関係人口）とのキズナを深め、Withコロナ時代に即した江差追分の普及伝承や魅力の発信、さらには、参加者の宿泊や飲食等含めコロナ禍により低迷している地域経済の活性化にも繋げることができた。		

年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	12	事業名	江差追分「キズナ」プロジェクト
資料			

1．江差追分オンライン～人・唄魅力発信事業～

・事業期間：令和3年7月19日～令和4年3月18日

・事業内容：業務委託契約※下記（1）（2）（3）

・委託先：㈱舞台派遣

（1）江差追分オンライン道場開設

・開設期間：令和3年8月15日(日)～令和4年2月27日(日)※毎週日曜日午後1半時から（60分間）

・実施内容：ＺＯＯＭによる江差追分のオンライン指導。※最大3人まで（1人20分間）

・利用状況：延べ53人（うち男37人・女16人）※実施期間定員84人（28週×3人）利用率63％

●ホームページ

●オンライン指導の様子

（2）江差追分動画配信（アーカイブ配信事業）

・江差追分会名誉師匠等の歴史や思い出、メッセージなどをYouTube動画で配信。

・江差追分思い出話　全９本【3人×3本（過去編・現在編・未来編）】

※近江八声 名誉師匠、小笠原次郎 上席師匠（当時）、渋田義幸 上席師匠

●ホームページ

（3）江差追分動画配信（江差追分大合唱配信事業）

・江差追分会会員から提供いただいた江差追分動画を一つにまとめYouTube動画で配信。

・動画提供人数２４人

●ホームページ

●事業の評価・効果検証

コロナ禍で江差へ来町出来ない中でも、「新しい生活様式」を取り入れ地元師匠からのオンラインでの追分指導や思い出話などのYouTube動画配信により追分愛好者との交流や江差追分のＰＲに繋がった。また追分愛好者がコロナ収束後に江差へお越しいただく機運の醸成が図られた。

年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	12	事業名	江差追分「キズナ」プロジェクト
資料			

２．　聖地で完全燃焼！中３最後の秋～魂の唄・江差追分思い出発表会～

・事業概要：江差追分全国大会中止により、来年の少年大会に出場できない中学校３年生
（16名）を対象とした発表会を開催。

※全国的な感染拡大（緊急事態宣言あけ直後）のため、動画発表会へ切り替えて開催。

・日時：令和3年9月19日（日）　午後2時～

・場所：江差町文化会館

・出場者：7名（動画出場）※男1人・女6人

・その他：当日はインターネットでライブ中継を実施した他、江差町内の一部で街頭放送も実施。

●発表会の様子

←江差追分会ホームページ内画像
※江差追分会ホームページから閲覧可能。

←動画発表の様子（文化会館）

●事業の評価・効果検証

コロナ感染拡大により現地での開催から急遽、動画での発表会となったが、少しでも思い出や今後の励みになればといことで、動画も現地で唄っているような演出をし、出場者からは良い思い出となったことや今後も江差追分を唄い続けたいとの感想をいただき、江差追分の将来を担う子供たちの新たな一歩を踏み出すきっかけづくりを創出できた。

年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	12	事業名	江差追分「キズナ」プロジェクト
資料			

3．本場で学ぼう！Go To Study　～江差追分セミナー事業～

【秋季セミナー】

＜第1週＞

・日時：令和3年11月4日（木）～令和3年11月6日（土）　午前9時～午後5時

・場所：江差追分会館・ホテルニューえさし（広い会場を借上げ感染防止を図った）

・参加者：11名（感染対策上、定員を1教室5人、最大3教室での開催）

＜内訳＞　男女別：男7人・女4人

年代別：50代1人、60代1人、70代6人、80代3人）

住所別：道内5人、道外6人

・受講料：無料

＜第2週＞

・日時：令和3年11月11日（木）～令和3年11月13日（土）　午前9時～午後5時

・場所：江差追分会館

・参加者：7名（感染対策上、定員を1教室5人、最大3教室での開催）

＜内訳＞　男女別：男5人・女2人

年代別：50代1人、60代2人、70代2人、80代2人）

住所別：道内5人、道外2人

・受講料：無料

【冬季セミナー】

・冬季セミナーについては、３週開催予定としたが、感染拡大状況のため中止とした。

●セミナーの様子

●事業の評価・効果検証

コロナ禍にも関わらず道内外からの参加があり、江差追分で繋がる愛好者とのキズナを深めるとともに交流を図ることができた。また、コロナ禍において、宿泊含め、地域経済活性化にも寄与することができた。

年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	12	事業名	江差追分「キズナ」プロジェクト
資料			

4．コロナ感染対策物品購入

・令和4年1月に入り、急激に新型コロナウイルス（オミクロン株）が感染拡大したことから、各種事業実施するための感染対策物品等を購入。

整備備品

1）置型空気除菌器　5器

2）有線マイク　20本

3）パーテーション（ｷｬｽﾀｰ付）　12個

4）パーテーション（卓上）　20個

※その他、検温器、消毒噴霧器、アルコールディスペンサー、消毒液など消耗品購入

●事業の評価・効果検証

江差追分会の各種事業については、町内に限らず全国からの参加者が集い、常に歌唱が伴うため飛沫等含めた感染対策が必要であることから、今回の備品整備により、主催者、参加者双方が少しでも安心した中で事業を展開できた。また、Withコロナ時代のため今後の各種事業にも活用が図られる。

年度	R3	担当課	まちづくり推進課		
計画No	13	事業名	江差町ふるさと特産品PR事業		
実績額	2,214,936	事業期間	R3.7.15	～	R4.3.31
交付金充当額	2,214,000				
対象	町内事業者				

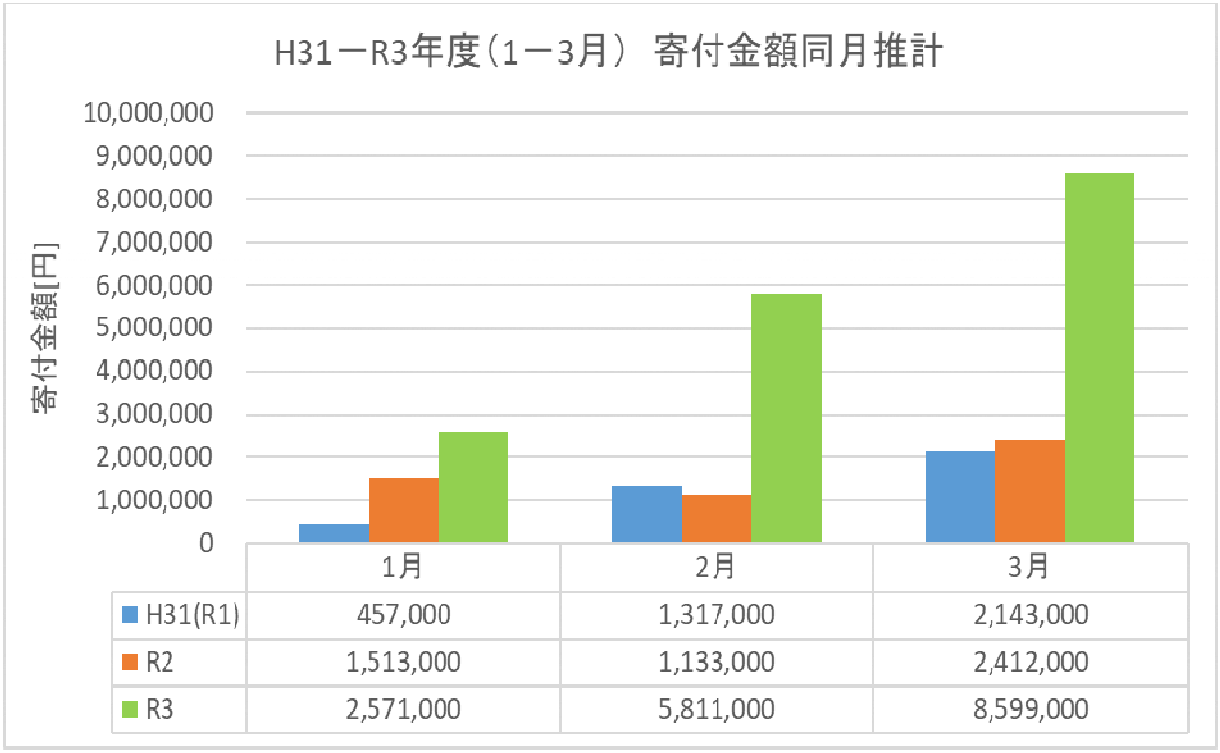
目的
コロナ禍において低迷した地域経済をふるさと納税特産品のPRを通じて町内事業者の地域経済の回復、地域の活性化につなげる。

事業実施状況
PR経費 ・特産品写真撮影用消耗品　　：77,482円 ・特産品写真撮影用消耗品の郵送料：2,464円 ・特産品写真撮影委託　　：99,990円 ・広告掲載料　　：2,035,000円 ※広告掲載期間はR4.1.26～R4.3.31

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
広告を掲載した１～３月について、令和２年度は5,058千円の寄附金に対して、令和３年度は16,981千円の寄附金があり、11,923千円増加した。（費用対効果　約５倍） これにより、ふるさと納税を通じた町内特産品のPR及び町内ふるさと納税協力事業者への経済的支援の一助を果たした。		

年度	R3	担当課	まちづくり推進課
計画No	13	事業名	江差町ふるさと特産品PR事業
資料			

広告画像



	1月	2月	3月
H31(R1)	457,000	1,317,000	2,143,000
R2	1,513,000	1,133,000	2,412,000
R3	2,571,000	5,811,000	8,599,000

年度	R3	担当課	追分観光課		
計画No	14	事業名	姥神祭り消費拡大キャンペーン		
実績額	3,080,000	事業期間	R3.7.19	～	R3.8.31
交付金充当額	3,080,000				
対象	江差町民				

目的
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町最大の祭りである「姥神大神宮渡御祭」が中止になったことに伴う消費の落ち込みが懸念されることから、消費拡大に向けて、祭りにちなんだオリジナルグッズが当たるキャンペーン事業を展開し、消費拡大及び経済回復の一助とする。

事業実施状況
委託費：3,080千円（観光コンベンション協会へ委託して事業を実施） 「姥神祭り消費拡大キャンペーン」 ○実施期間　令和3年7月26日～8月22日 ○実施内容　応募用紙に設定金額以上の領収書を貼付しオリジナルグッズ キャンペーンを実施（町内の飲食店・小売店・大型スーパー） ○応募総数　1,586件（Ａ賞300名（1口3,000円）、Ｂ賞390名（1口5,000円）） 参加賞896名(応募者全員) ※応募に貼付されたレシート総額9,418千円 ○経費内訳　祭りグッズ経費：2,639千円、印刷製本費：99千円、郵便料：151千円、 事務費、諸経費：191千円 ○景品内容　Ａ賞：全山車の家紋入り冷感タオルとケース Ｂ賞：希望する山車の家紋入りタンブラーと冷感タオルのセット

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
取組期間が２８日間と短い期間での実施となったが、応募に貼付するレシート総額が9,418千円（応募総数1,586件）となり 祭りにちなんだグッズが当たるという相乗効果もあり、当初の目的にあった江差町内の消費拡大については十分な効果があったと考える。		

年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	14	事業名	姥神祭り消費拡大キャンペーン
資料			

キャンペーンチラシ

「姥神大神宮渡御祭」が２年連続で中止となり大変残念な思いです。もう少し我慢の時が続きますが、昨年に引き続きオリジナルグッズで、ちょっとお祭り気分を味わいましょう。昨年のオリジナルタンブラーに加え、クールタオル（ケース付）、アートシールを作製しました。今回は、当選者数も大幅アップです。
応募方法は、3,000円コースと5,000円コースから選択して下さい。また、応募者全員に姥神祭山車紋シールを１名につき１枚（複数応募でも１名分）をプレゼントします。

～応募用紙裏面～

レシート又は領収証をセロテープ・のりなどで、剥がれないように貼って下さい。
※応募用紙１枚につき１口の応募となります。
※応募用紙１枚につき１コースの応募となります。
※レシート等の合計金額印字部分がセロテープで消える場合がありますのでご注意下さい。

応募用紙投函箱設置個所
※応募用紙もあります。
・フードセンターブンテン（伏木戸）
・道の駅えさし（尾山町）・大杉商店（姫谷町）
・小林ミルクパーラー（中歌町）・山田屋（姥神町）
・ぷらっと江差（姥神町）・五勝手屋本舗（本町）
・江差観光コンベンション協会（江差町役場１Ｆ）

応　募　要　項

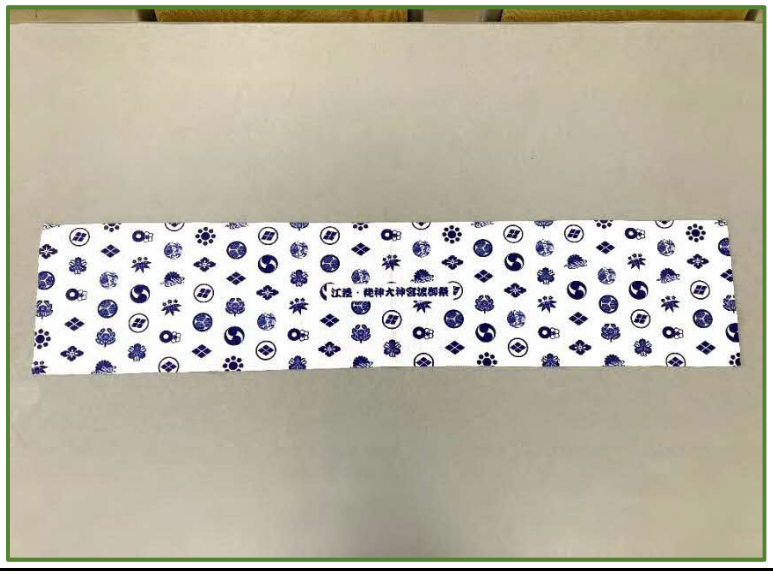
◆コースのご案内
【3,000円　11口コース】　当選者数：３００名
クールタオル（900mm×200mm）ケース付
藍色の１３台の全山車紋入・白地
【5,000円　1口コース】
当選者数：３９０名（１３台の山車×３０名）
オリジナルタンブラー（450 ml）
クールタオル（900mm×200mm）ケース付
タンブラー・クールタオルは着望の山車紋（同一紋）のセット
【応募者】
山車紋シール（Ａ４）
応募者全員プレゼント
※複数応募の場合でも１名１枚
◆応募期間：７月２６日（月）～ ８月２２日（日）
◆当選発表は、景品の発送をもってかえさせていただきます。
◆景品発送：８月下旬予定
◆応募期間中に、江差町内の飲食店、小売店、大型スーパー等のレシートまたは領収証を専用応募用紙に貼付けて応募して下さい。
◆応募コースの選択をして下さい。
◆専用の応募用紙１枚につき１口の応募
◆１人何口でも応募可能
◆レシート等は、町内の店舗名・購入日が確認できるものに限ります。
◆専用の応募用紙に必要事項を記入し、応募箱に投函または郵送で応募して下さい。
◆希望山車名が記載無いものは、事務局に一任させていただきます。
※専用応募用紙以外での応募は無効になります。

①新栄山（新栄町）②神功山（愛宕町）③豊栄山（豊川町）④姫子山（中歌町）⑤豊年山（姥神町）⑥榊公山（津花町）⑦松寶丸（鴎岸町・鴎屋町）⑧鶴公山（雷源町・岩町・雷部丘）⑨箏山（茂狩町）⑩亀武山（橋本町）⑪源氏山（上野町）⑫沼正山（本町）⑬姥宗山（新地町・円山・緑丘）

お問合先：江差観光コンベンション協会 TEL0139-52-4815

年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	14	事業名	姥神祭り消費拡大キャンペーン
資料			

キャンペーングッズ（タンブラー、ステッカー、冷感タオル）



年度	R3	担当課	追分観光課		
計画No	15	事業名	①（仮称）かもめ島の秋まつり ②「かもめ島」活用観光振興		
実績額	1,244,100	事業期間	R3.6.2	～	R3.9.9
交付金充当額	1,243,000				
対象	委託事業者				

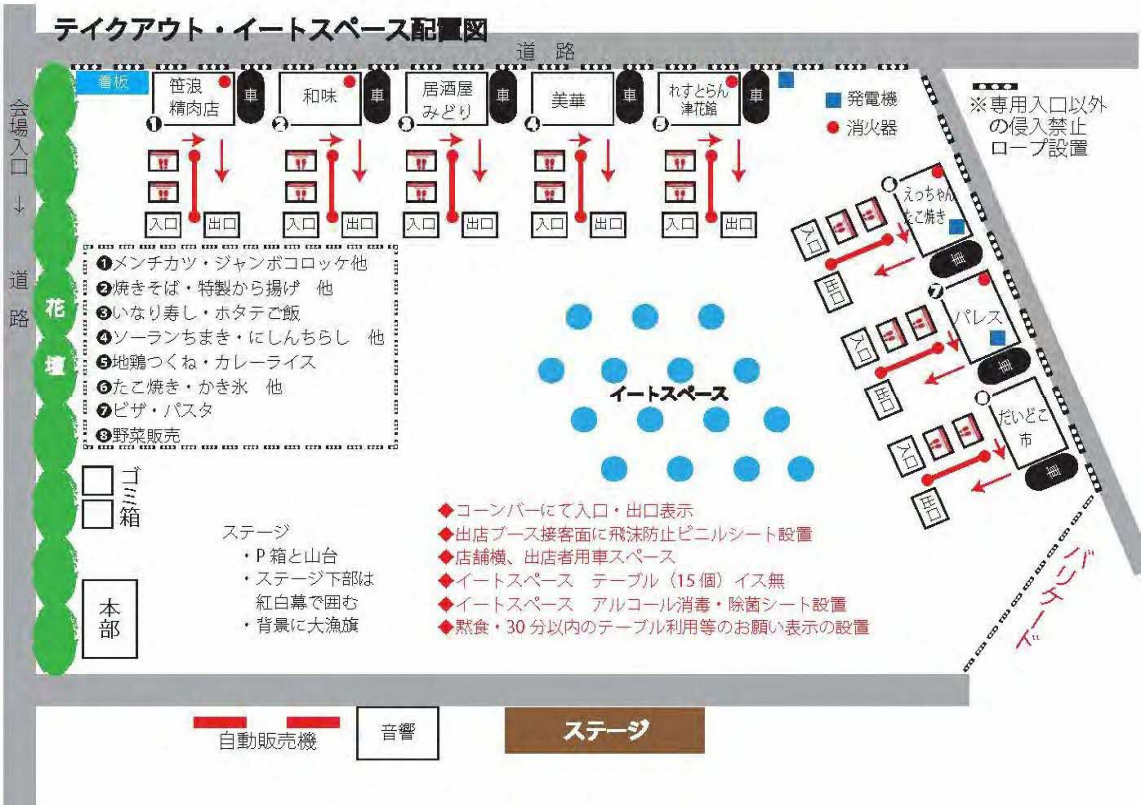
目的
三大祭りの１つである「江差かもめ島まつり」の中止に伴い、コロナ禍における代替イベントを開催することによって町民がかもめ島周辺で楽しめる機会の創出、イベントを介した町内消費の拡大につなげる。

事業実施状況
(仮称)かもめ島の秋まつり運営事業委託 委託費：1,245千円（イベント運営委託費136千円、映画上映委託1,109千円） ※事業中止により事業清算等に伴う解約合意書の取り交わしを行い支出。 「かもめ島ミニシアター業務委託」（緊急事態宣言発令により中止） ○実施時期　　令和３年９月４日１８時３０分～ ○実施場所　　かもめ島旧花月跡地 ○実施内容　　映画「るろうに剣心」

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	×
コロナ禍における「江差かもめ島まつり」の中止に伴い、代替イベントを開催することによって町民がかもめ島周辺で楽しめる機会の創出と北の江の島構想の推進を図り、イベントを介しての町内消費の拡大につなげることを目的としに実施予定であったが、事業実施日同日に緊急事態宣言が発令されたことにより、中止とした。 　このため、事業の評価及び効果検証には至らない。		

年度	R3	担当課	追分観光課
計画No	15	事業名	①（仮称）かもめ島の秋まつり
資料			

実施予定会場図



年度	R3	担当課	社会教育課		
計画No	16	事業名	AIカメラ体温測定システム整備		
実績額	1,490,500	事業期間	R3.7.28	～	R3.9.3
交付金充当額	1,490,000				
対象	江差町文化会館（主設置場所）				

目的
新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々なイベント等が中止や多くの制限のなかで開催されている状況にある。不特定多数の方が参加・利用するイベントや、日常的な施設の利用においては、入室・入場時に検温などの対応が必要となっているが、個別対応では人流の滞留などによる二次感染リスクが懸念され、加えて労力的・人員的な負担が大きい。こうしたことから複数人を同時に検温できるＡＩサーマルカメラを導入し、施設の安全性の確保や利便性を向上させるとともに様々なイベント等で活用を図る。

事業実施状況
体温測定システム導入経費 ・ＡＩ体温測定カメラ ・測定結果表示モニター（スタンド・パソコン附属） ・ブラックボディ（温度校正装置） ・ＬＡＮ配線工事

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
文化会館には日常的に図書館を利用する町民が不定期で訪れており、入館の際に随時職員が検温対応する必要がなく接触等のリスクがなくなった。 また、映画上映や成人式等のイベント、学校行事などで多数の方が入場する際に、検温で立ち止まる必要がなくなったことで、時間に関係なく不特定の方の入出場に対応できることから人的負担も大きく軽減された。		

年度	R3	担当課	社会教育課
計画No	16	事業名	AIカメラ体温測定システム整備
資料			

ＡＩ体温測定カメラ（スタンド・モニター）設置状況

監視用パソコン（事務室設置）

年度	R3	担当課	建設水道課
計画No	17	事業名	江差町住宅リフォームプレミアム商品券発行事業補助
実績額	12,320,000	事業期間	R3.4.1　～　R4.3.28
交付金充当額	3,498,000		
対象	江差商工会		

目的
新型コロナウイルス感染拡大防止を図るために江差町住宅リフォームプレミアム商品券を発行し、家庭内での感染防止に努めると共に、建設業支援を図る。

事業実施状況
補助金（事業委託～委託費12,320千円） ・プレミアム分10,000千円 ・事務経費分　2,320千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
・本事業の実施により、住宅の長寿命化、省エネルギーの推進、住環境の向上等によるリフォーム市場の拡大や、町内住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を図ることができた。 ・商品券発行総額5,000万円に対し工事実施総額が約6,860万円となっており、約1.37倍（町支出額に対して約5.57倍）の経済効果を得る結果となった。		

年度	R3	担当課	建設水道課
計画No	17	事業名	江差町住宅リフォームプレミアム商品券発行事業補助
資料			

平成27年度より、住環境の向上や省エネ・地域経済の活性化等を目的として『江差町住宅リフォームプレミアム商品券』を販売。5万円分の商品券を4万円で購入できるもの（上限100万円分まで。プレミアム率25%）。

令和3年度事業として5,000万円分の商品券を発行し、のべ79件・総額約6,860万円の工事が実施された。

○実施主体　：江差商工会
○登録事業者：５５社
○実施工事例：屋根張替え・塗装、外壁張替え・塗装、内装改修、
トイレ改修、浴室改修、洗面台取替え、水栓取替え、
ボイラー取替え、エアコン新設　　ほか

過去7年間の総工事額	478,968,510円
過去7年間の総工事件数	のべ535件

年度	R3	担当課	①　町民福祉課、②　高齢あんしん課 ③④産業振興課、⑤　財政課、⑥　社会教育課
計画No	18	事業名	①町立保育園トイレ洋式化改修工事 ②老人福祉ｾﾝﾀｰﾄｲﾚ洋式化改修工事 ③檜山地域人材開発ｾﾝﾀｰﾄｲﾚ洋式化改修工事 ④江差商工会ﾄｲﾚ洋式化改修工事補助 ⑤集会施設トイレ洋式化改修工事 ⑥運動公園トイレ洋式化改修工事
実績額	18,436,000	事業期間	R3.12.15　～　R4.3.31
交付金充当額	18,336,000		
対象	各公共施設、商工会		

目的
新型コロナウイルス等の感染の一因として、水洗トイレの便器洗浄時に病原体を含み飛散するエアロゾルが危険視されている。本事業により和式トイレを洋式化し、病原体の飛散を防ぎ、感染リスクの軽減を図る。

事業実施状況
工事請負費、補助金 ●工事請負費：14,575千円 ・老人福祉センター　5,181千円 ・町立保育園　2,365千円 ・運動公園　1,694千円 ・人材開発センター　2,299千円 ・集会施設等　3,025千円 内訳）檜川担い手センター（女子用１基） 伏木戸寿の家（男女用各１基の計２基） 中網老人憩いの家（男女用各１基の計２基） ●補助金：4,147千円 ・商工会館のトイレ洋式化及び男女別トイレへの改修費補助

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
・洋式化したことで病原体の飛散を防ぎ、感染リスクの軽減を図ることができた。 ・商工会館のトイレについては、これに加え、男女共用トイレの解消（男女別化）が図られ、地域の商工業者の拠点施設としての機能向上、利便性の向上が図られている。		

年度	R3	担当課	高齢あんしん課　他４課
計画No	18	事業名	トイレ洋式化改修工事
資料			

老人福祉ｾﾝﾀｰﾄｲﾚ洋式化

集会施設等ﾄｲﾚ洋式化

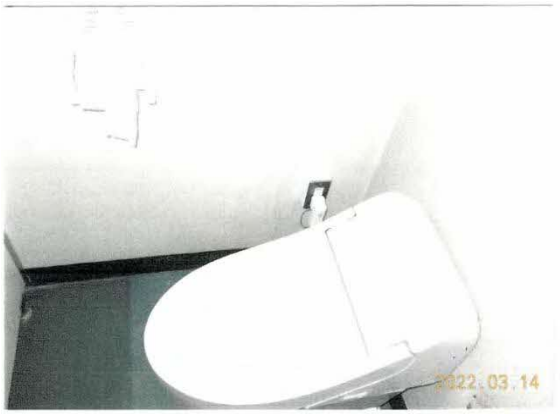
日明保育園　　左：大人用　右：子ども用

水堀保育園　　左：大人用　右：子ども用

年度	R3	担当課	高齢あんしん課　他４課
計画No	18	事業名	トイレ洋式化改修工事
資料			

江差町運動公園（野球場管理棟）　男子トイレ（左）・女子トイレ（右）

檜山地域人材開発ｾﾝﾀｰﾄｲﾚ洋式化



江差商工会ﾄｲﾚ洋式化

年度	R3	担当課	産業振興課		
計画No	19	事業名	①アワビ養殖漁業モデル推進事業補助 ②農業経営持続化支援給付金 ③漁業経営持続化支援給付金事業		
実績額	21,803,161	事業期間	R3.12.14	～	R4.3.31
交付金充当額	21,803,000				
対象	農業者、漁業者				

目的
新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている農業者、漁業者に対し、経営継続のための緊急支援を行う。

事業実施状況
補助金、給付金 ●生産性の向上に資する取組の推進　5,500千円 ・ふるさと納税返礼品の開発等 ・アワビの種苗2万個×200円＋養殖に必要な経費1,500千円 ●農家への生産規模や生産品目等に応じた支援金を給付　9,294千円 ・生産品割（2,000円/10a）×22,768.03a＝4,553,606円 ・生産品割（500円/10a）×44,991.1a＝2,249,555円 ・均等割（30,000円/人）×83人＝2,490,000円 ●鮮魚を中心とした魚価の市場価格の低迷や燃油の高騰に苦しむ漁業者に対し支援金を給付　7,010千円 ・規模別割（動力漁船20トン以上　200千円）×1＝200千円 ・規模別割（動力漁船10トン以上20トン未満　150千円）×6 ＝900千円 ・規模別割（動力漁船1トン以上10トン未満　80千円）×38 ＝3,040千円 ・規模別割（動力漁船1トン未満　50千円）×16＝800千円 ・均等割（一律　30千円）×69＝2,070千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○

●アワビ養殖漁業モデル推進事業補助

生産性の向上に資する取組の推進として、事業費5,500千円で、アワビ製品として、ふるさと納税寄附が485件、8,070千円（3月末時点）。事業費を上回る寄付額となり、養殖事業を行うことで短期間で、漁業者の経営安定が図られた。

●農業経営持続化支援給付金

対象者86名中83名に給付（3名は受給要件を満たさなかった）。営農意欲の維持と経営の安定が図られた。

●漁業経営持続化支援給付金事業

対象者69人中69人に給付。漁業意欲の維持と経営の安定化が図られた。

年度	R3	担当課	産業振興課
計画No	19	事業名	①アワビ養殖漁業モデル推進事業補助
資料			

開発した返礼品（活あわび）

あわびのサイズ（60～65mm）
・活アワビ（12個入）
・活アワビ（8個入）

開発した返礼品（煮あわび、酒蒸しあわび）

煮あわび（3袋）・蒸しあわび（2袋） セット
煮あわび（2袋）・蒸しあわび（1袋） セット

◇ふるさと納税寄附件数及び金額（令和４年３月３１日時点）

商品名	件数	金額
活アワビ（12個入）	249	4,980,000
活アワビ（8個入）	155	2,031,000
煮アワビ（3袋）・蒸しアワビ（2袋）	55	825,000
煮アワビ（2袋）・蒸しアワビ（1袋）	26	234,000
合計	485	8,070,000

※６１５件　１０，２２４，０００円（令和４年７月３１日時点）

年度	R3	担当課	健康推進課
計画No	22	事業名	インフルエンザ予防接種支援
実績額	5,532,509	事業期間	R3.10.1　～　R4.3.31
交付金充当額	5,532,000		
対象	江差町に住所を有するもので、生後6か月～中学3年生、65歳以上、60～64歳で心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身辺の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者		

目的

高齢者及び乳幼児等のインフルエンザの重症化予防とともに、新型コロナウイルス感染症との個別診断が必要となる医療機関への負担軽減を図る。

事業実施状況

・対象者(①65歳以上②子ども）に対して、費用を全額助成

・10月広報折込チラシで町民へ周知。接種希望者が医療機関へ直接予約を行い、接種する。

・実施期間　令和3年10月1日～R4年1月31日

・接種状況

対象者		接種人数	接種率(%)
高齢者		1247	43.8
子ども	13歳未満	422	43.9
	13歳以上	558	15.2

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	×

コロナ流行前の2020年は江差保健所管内のインフルエンザの定点報告数の基準値が警報レベルとなり多く報告されていたが、2021年から2022年は報告数が激減しており、個別診断が必要となる医療機関への負担軽減が図れた。(北海道感染症情報参照)

年度	R3	担当課	財政課		
計画No	23	事業名	港湾事業特別会計繰出金		
実績額	702,000	事業期間	R3.4.1	～	R4.3.31
交付金充当額	702,000				
対象	ハートランドフェリー				

目的
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、フェリー利用者の減少が顕著であることから、フェリー乗り場である江差港湾センター使用料を減免し、経営を支援する。

事業実施状況
・令和３年度使用料調定額の半額を支援 ・調定額　1,403,834円×1/2=701,917円 ・使用料の減額分を繰出金として支出

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	×
新型コロナウイルス感染症の影響によりフェリー利用者が著しく減少していることから港湾センター使用料の５割減免を行った。今回の支援により、旅客定期航路事業者の経費支出の軽減が図られた。		

年度	R3	担当課	町民福祉課		
計画No	24	事業名	保育園感染予防物品購入		
実績額	970,541	事業期間	R4.1.17	～	R4.3.18
交付金充当額	970,000				
対象	保育園				

目的
保育園における昼食及びおやつの時間に、対面による食事での飛沫感染予防のため、アクリルパネル・感染予防物品等を購入し、感染リスクを軽減する。

事業実施状況
消耗品費、備品購入費 ・アクリルパネル　60cm×60cm × 75枚 75枚×10,263円＝769,725円（税込） ・加湿空気清浄機　（53,900円×1台）＋（23,980×1台＝） 77,880円（税込） ・感染予防物品（消耗品）122,936円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
①昼食及びおやつの時間に使用するアクリルパネルを整備することで、食事の際の飛沫感染を予防することができ、感染リスクを軽減することができた。 ②加湿空気清浄機や感染予防物品を整備することにより、飛沫感染のリスクを軽減することができた。		

年度	R3	担当課	町民福祉課
計画No	24	事業名	保育園感染予防物品購入
資料			

アクリルパネル

加湿空気清浄機

年度	R3	担当課	まちづくり推進課		
計画No	25	事業名	江差町公共交通事業者緊急経済対策支援事業		
実績額	2,700,000	事業期間	R3.12.16	～	R3.12.24
交付金充当額	2,700,000				
対象	バス、ハイヤー事業者				

目的
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の適用により、不要不急の外出、往来の自粛など経済活動における人の流れが抑制されている状況にある。 外出機会が減少したことで、公共交通機関の利用者が著しく減少しており、バス事業者やハイヤー事業者の事業収入が大幅に減少している。 こうした現状を鑑み、町内公共交通事業者に対する運行継続支援を行い、公共交通機関の維持確保の一助とするもの。

事業実施状況
支援金 ・バス事業者：一般貸切旅客自動車３台×支援金300千円　　＝900千円 ・ハイヤー事業者：一般乗用旅客自動車６台×支援金300千円＝1,800千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	×
コロナ禍により厳しい経営状況が続いている町内公共交通事業者への支援として、対象事業者が町内の営業所で所有する全営業車両に対する支援金交付を実施し、町内の公共交通機関の維持・確保できた。		

年度	R3	担当課	総務課		
計画No	26	事業名	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染拡大防止対策Web会議ｼｽﾃﾑ拡充事業		
実績額	905,696	事業期間	R4.1.20	～	R4.2.20
交付金充当額	905,000				
対象	役場庁舎				

目的
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web会議による会議の需要が増加したことから、Web会議ができるよう常設設備を整備する。

事業実施状況
備品購入費 ・ミーティングテーブル　44千円× 6脚＝264千円 ・スタッキングチェア　　4.8千円×12脚＝ 58千円 ・Web会議用テレビ　　6台分　385千円 ・Web会議システム機器（タブレット等）一式　199千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
コロナ禍における各会議・打ち合わせをWeb会議システムを用いることで、感染拡大地域との往来が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減につながった。		

年度	R3	担当課	総務課
計画No	26	事業名	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染拡大防止対策Web会議ｼｽﾃﾑ拡充事業
資料			

ミーティングテーブル等

Web会議システム一式

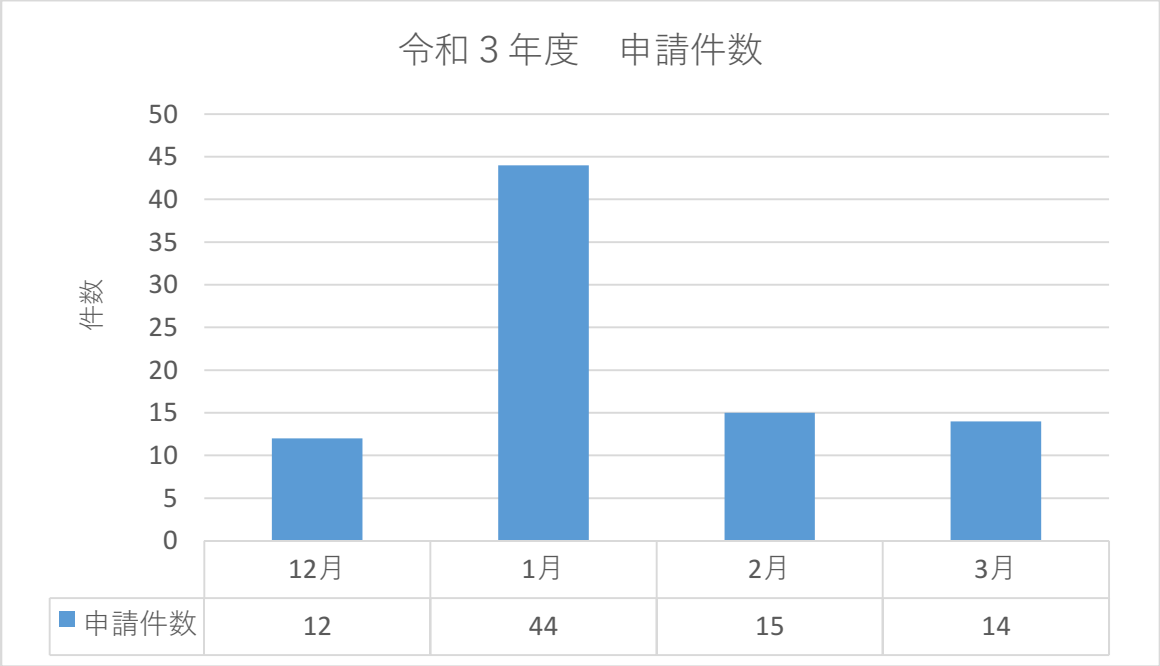
年度	R3	担当課	健康推進課
計画No	27	事業名	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症検査費用助成
実績額	128,000	事業期間	R3.12.1　～　R4.3.31
交付金充当額	128,000		
対象	無症状者のうち、下記の通り ・新型コロナウイルス感染症の検査を希望する町民（濃厚接触者等で行政検査の対象者及び既陽性者の陰性確認は除く） ・町長が必要と認めた者（江差町民である親族（本人又は配偶者の二親等以内の親族）宅へ帰省・里帰りする方等。）		

目的
新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び重症化を予防するため、無症状で、検査を希望する町民及び町長が必要と認めた者の検査費用の一部を助成する

事業実施状況
新型コロナウイルス感染症の検査費用への助成 新型コロナウイルス感染症の抗原検査費用　上限２回／人 ・@1,000円×128枚発行＝128,000円　（実人員85人）

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
①対象者　6850人中82人へ助成した（申請者のうち町外の方は3人） ②12月～1月にかけての移動や帰省の時期に合わせ申請される方が多く見受けられ、 感染拡大防止の一助となった。		

年度	R3	担当課	健康推進課
計画No	27	事業名	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症検査費用助成
資料			



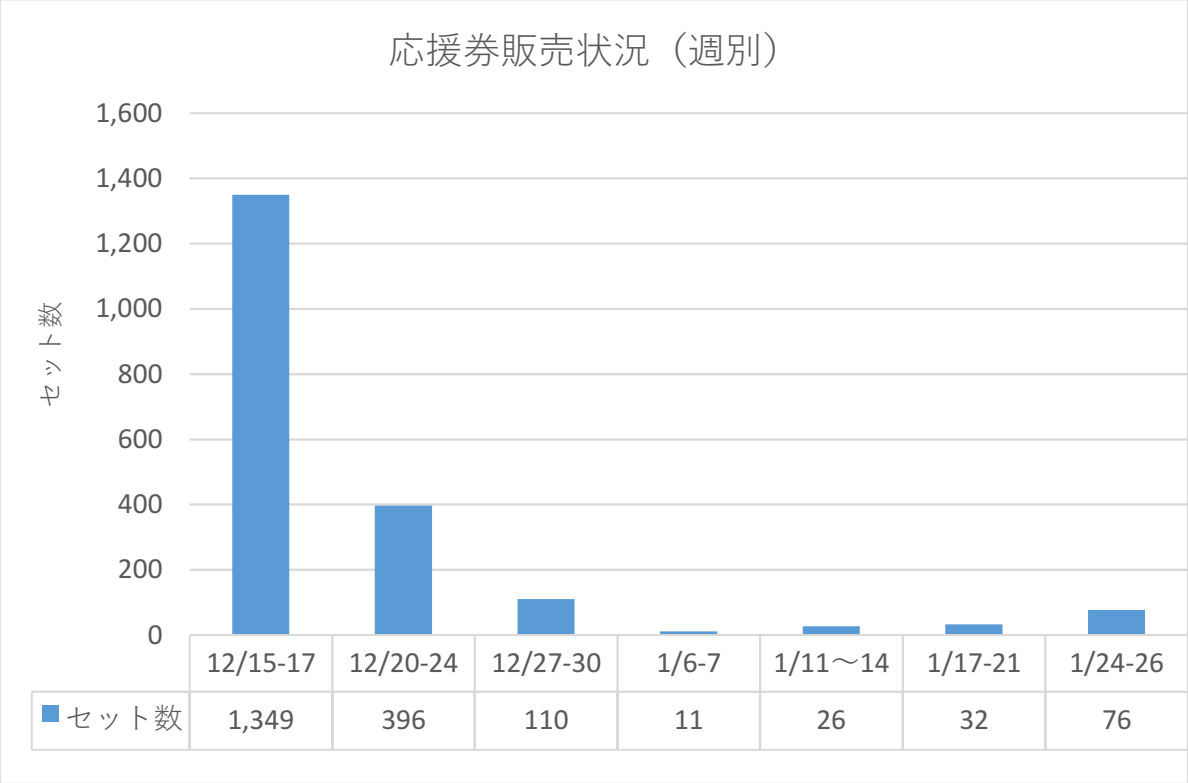
年度	R3	担当課	産業振興課
計画No	28	事業名	“エエ町、江差”飲食店応援券事業
実績額	5,405,000	事業期間	R3.11.26　～　R4.3.31
交付金充当額	5,405,000		
対象	事業委託先：江差商工会 利用者：町民ほか 参加店舗：町内の飲食店、ホテル・旅館（宿泊は対象外）		

目的
長期にわたる外出自粛、緊急事態措置に伴う時短営業等により、飲食店は打撃を受けている。新型コロナウイルスの感染が落ち着き、飲食店における人数制限等が解除となったが、コロナ前の水準への回復は厳しい状況になっている。忘新年会シーズンに向け、飲食店への利用促進を図るとともに、地域経済の活性化につなげる。

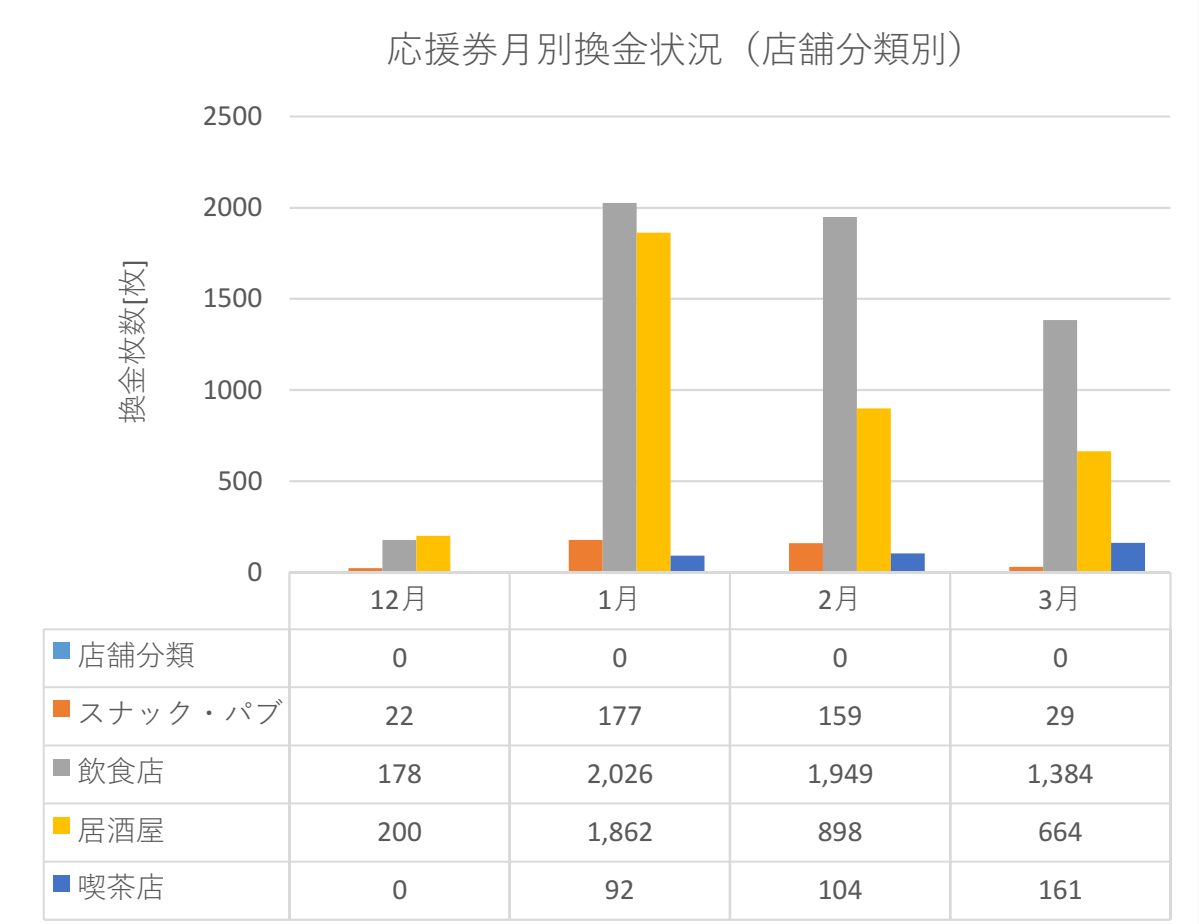
事業実施状況
（1）商工会への事業委託 ①委託費　プレミアム分3,905千円（換金額9,905千円－販売収入6,000千円） ②事務費分1,500千円（商品券印刷、店舗募集、チラシ等の作成、換金事務費、諸経費） （2）応援券の発行・販売・利用状況 ①発行総額：10,000千円（1セット1,000円券×5枚、2,000セット発行） ②販売数：2,000セット（発行数に対する割合100％） ③利用枚数：9,905枚（販売枚数に対する割合99.05％）

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
・プレミアム分3,905千円の支援により、換金額9,905千円を超える飲食店での消費が図られている（委託額の約2.5倍の1次的な経済波及効果）。 ・まん延防止等重点措置の適用もあり、利用期間の延長を行ったところであるが、最終的な利用率については、発行枚数1,000円券×10,000枚のうち9,905枚が使用され換金されている。利用率は99.05％と非常に高い数値となっている。 ・一方で、使用されている店舗には大きな差が見られる。まん延防止等重点措置の適用などもあり、スナックやバーなどの利用は低調で、波及効果については濃淡があった。		

年度	R3	担当課	産業振興課
計画No	28	事業名	“エエ町、江差”飲食店応援券事業
資料			



	12/15-17	12/20-24	12/27-30	1/6-7	1/11～14	1/17-21	1/24-26
セット数	1,349	396	110	11	26	32	76



	12月	1月	2月	3月
店舗分類	0	0	0	0
スナック・パブ	22	177	159	29
飲食店	178	2,026	1,949	1,384
居酒屋	200	1,862	898	664
喫茶店	0	92	104	161

年度	R3	担当課	町民福祉課		
計画No	29	事業名	町内会及び自治会への活動支援事業		
実績額	3,203,855	事業期間	R3.12.15	～	R4.3.10
交付金充当額	3,203,000				
対象	町内会及び自治会　３２団体				

目的
コロナ禍における町内会活動を支援するため、感染症対策として1団体（町内会及び自治会のみ）に対して、一律10万円を補助

事業実施状況
役務費、負担金 ・交付金3,200千円（町内会・自治会32団体×100千円） ・役務費　　4千円（振込手数料、郵便料）

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	×
①すべての町内会・自治会32団体に一律10万円を交付。 ②各団体ごとのニーズに応じた感染症対策に活用。 ・消毒液等の各戸配付、団体内会議時の感染症対策物品購入　等		

年度	R3	担当課	社会教育課		
計画No	30	事業名	ｺﾛﾅ禍における文化保存伝承支援事業		
実績額	1,368,400	事業期間	R3.12.27	～	R4.2.28
交付金充当額	1,368,000				
対象	町内の郷土芸能保存団体 江差町民芸団体連絡協議会（加盟9団体）				

目的
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、２年近くもの長い期間で人々の集まりが制限され、各種イベント等も中止となり、地域の貴重な郷土芸能等の保存伝承する機会（練習や発表等）も失われてきた。制限も一部緩和された状況を踏まえ、郷土芸能の活動機会の創出を図るとともに技術的な指導等を映像として記録し後世に伝承していく

事業実施状況
出演謝礼、消耗品費、備品購入費、委託料 ・消耗品費（飛沫防止用スタンド及びシート）　：222千円 ・備品購入費（記録用カメラ、ベルトパーテーション）：156千円 ・保存伝承映像記録委託：　990千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
①対象団体９団体のうち６団体に支援できた（支援率66.7%） ②物品の整備により感染対策を講じながら活動することができた ③各地域で定期的に行われていた保全伝承の活動や発表の機会が制限されていることから、技術的な指導などの映像を記録することにより、対面での指導以外の様々な機会に指導等が可能となり、感染リスクを軽減した活動ができた。		

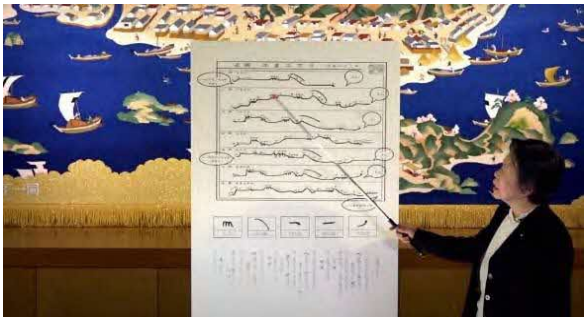
年度	R3	担当課	社会教育課
計画No	30	事業名	ｺﾛﾅ禍における文化保存伝承支援事業
資料			

記録映像（スクリーンショット）

「土場鹿子舞」の笛について

「土場鹿子舞」の笛の吹き方

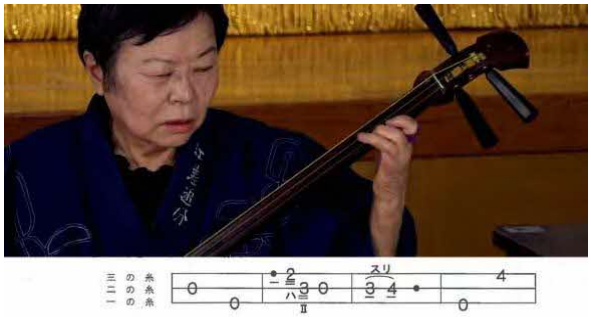
「江差三下り」の唄い方



「江差三下り」の踊り方

「江差沖揚音頭」の動作

「江差追分」の三味線の弾き方



年度	R3	担当課	社会教育課
計画No	30	事業名	ｺﾛﾅ禍における文化保存伝承支援事業
資料			

記録映像（スクリーンショット）

「江差鮫踊り」の動作

「江差鮫踊り」の囃子

「江差餅つき囃子」の動作

「江差餅つき囃子」の笛の吹き方

「江差餅つき囃子」の太鼓の叩き方

「江差餅つき囃子」の三味線と茶釜

年度	R3	担当課	社会教育課		
計画No	31	事業名	冬期間における子ども等の居場所づくり事業		
実績額	1,234,448	事業期間	R3.12.16	～	R4.3.2
交付金充当額	1,234,000				
対象	江差町民				

目的
新型コロナウィルス感染症の拡大により、学校行事やイベントなどが中止や縮小され、地域における交流活動が減少している状況にあり、このような中、感染予防がしやすい屋外においてコロナ禍でも安心して集える場を提供することにより気軽に交流できる環境をつくり、子ども達や地域住民の健康増進を推進する。

事業実施状況
●開設期間　1月29日(土)～2月27日(日) ●実施状況　平日：団体利用　7日間　土日祝日：一般開放　12日間 ●利用者数　平日：延164名　土日祝日：延365名 ●経費内訳 ・委託料　雪山スロープ整備委託　：990千円 管理人委託(1名 19日分）：75千円 ・仮設トイレリース（1/20～2/28）　：113千円 ・管理棟暖房燃料（灯油90ℓ）　：11千円 ・消耗品類（貸出用ソリ、消毒液）　：45千円

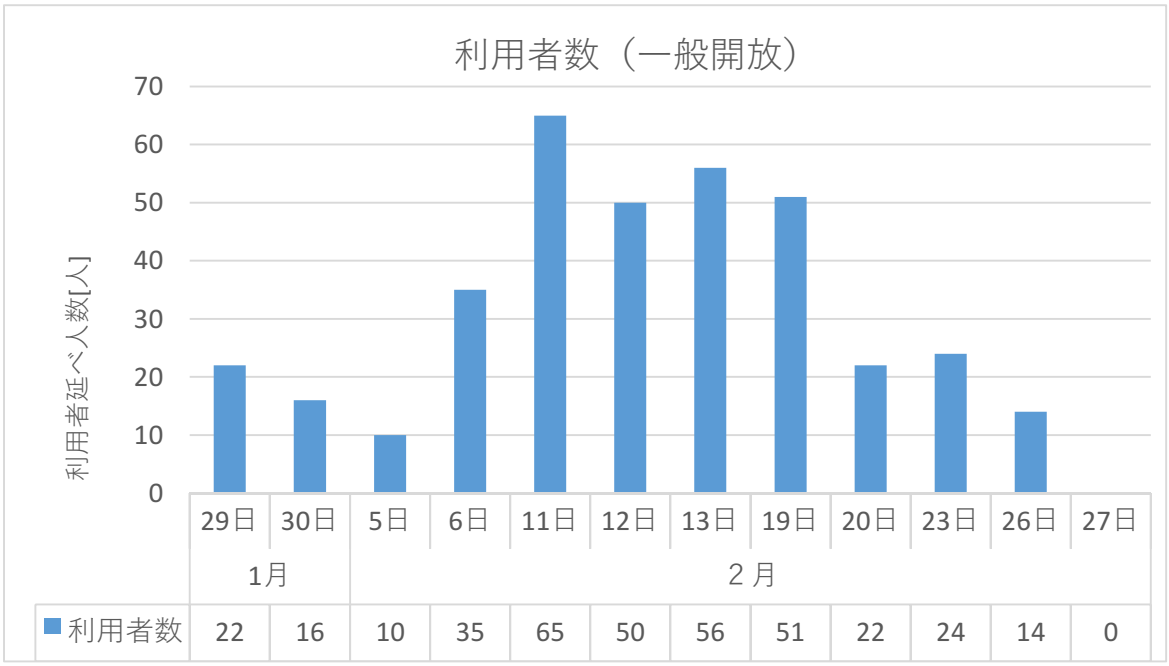
事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
冬期間の交流の場として雪山スロープを整備。降雪も多く1ヵ月間開設することができた。平日は団体利用、一般開放は土日祝日として利用。 天候状況により利用人数に差があるものの、延365名が利用し、特に親子連れによる交流の場としての多くの利用がされたほか、平日は小学校や幼稚園の子ども達のスキー練習や雪遊びの場として屋外活動に寄与した		

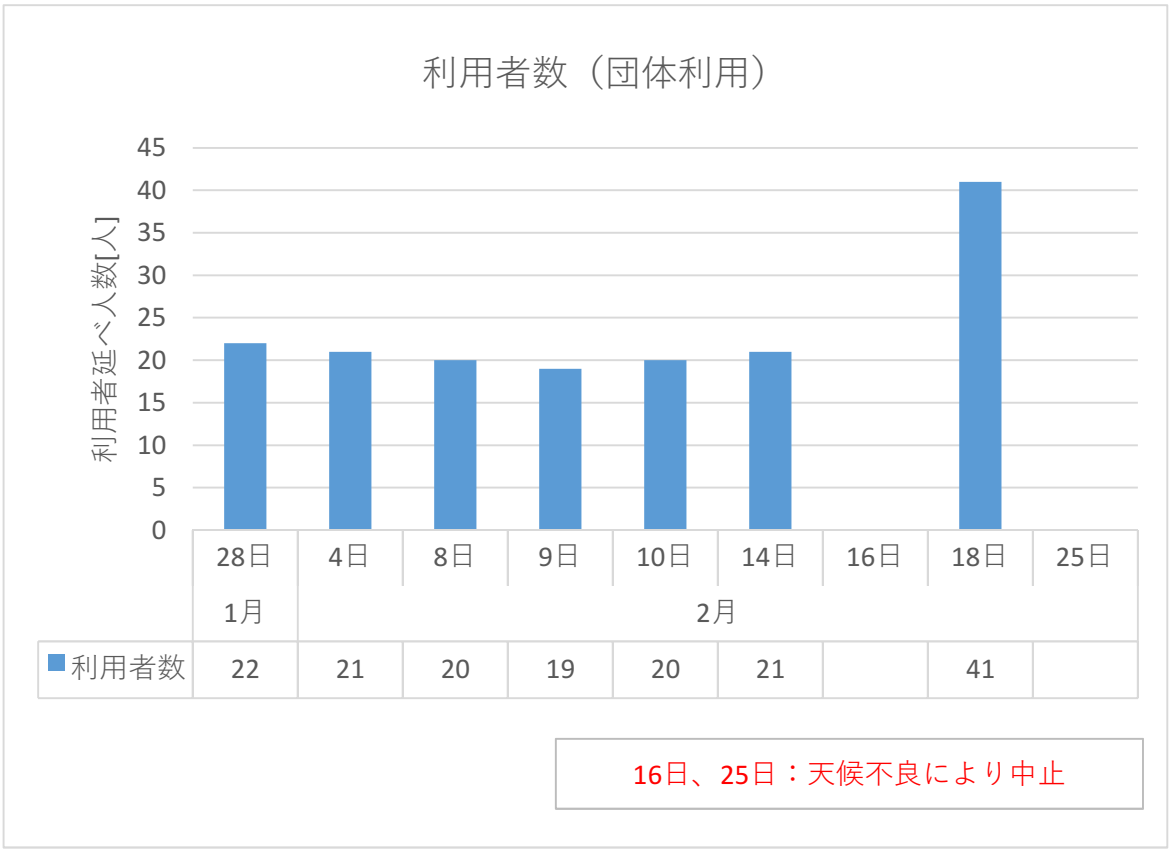
年度	R3	担当課	社会教育課
計画No	31	事業名	冬期間における子ども等の居場所づくり事業
資料			

雪山完成写真

利用状況

年度	R3	担当課	社会教育課
計画No	31	事業名	冬期間における子ども等の居場所づくり事業
資料			





16日、25日：天候不良により中止

年度	R3	担当課	社会教育課		
計画No	32	事業名	公共施設を活用した子ども等の居場所づくり事業		
実績額	1,442,040	事業期間	R4.1.17	～	R4.2.27
交付金充当額	1,442,000				
対象	江差町民				

目的
新型コロナウィルス感染症の拡大により、学校行事やイベントなどが中止や縮小され、地域における交流活動が減少している状況にあり、コロナ禍でも安心して交流できる場として町内公共施設を有効に活用し地域の子ども達が冬期間でも安心して集える遊びの広場を開設することにより、体をうごかすことでの健康づくりや子供たちや家族の交流に資する

事業実施状況
イベント業務委託、遊具資材等 ・ダンボール迷路：446千円 ・射的広場　　：347千円 ・親子映画上映会：480千円 ・図書館利活用　：57千円 ・感染症予防対策：113千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
公共施設を活用した子どもの遊び場整備として段ボール迷路、射的の資材の購入の他、図書館における交流の場としてボードゲームを整備。 まん延防止期間の延長により予定期間での広場開設はできなかったが、映画鑑賞会などでの射的広場や社会教育事業における世代間交流など様々な機会で今後も継続的に活用が可能である。		

年度	R3	担当課	社会教育課
計画No	32	事業名	公共施設を活用した子ども等の居場所づくり事業
資料			

遊具資材

図書館にて整備した遊具資材

年度	R3	担当課	学校教育課		
計画No	33	事業名	新型コロナウイルス感染予防対策		
実績額	877,932	事業期間	R3.5.12	～	R4.3.15
交付金充当額	877,000				
対象	町内小中学校				

目的
修学旅行で、利用する貸切バス台数を増やすことで車内での密接を回避し、新型コロナウイルス感染のリスクの低減を図る。また、新型コロナ感染拡大により臨時休校になった場合、インターネット環境のない家庭へのオンライン授業体制の確保を図る。

事業実施状況
台数増加に伴うバス使用料等、モバイル通信機器の通信費 ●修学旅行における感染リスク低減　821千円 ・大型貸切バス借上料　713千円　小学校分　360千円 中学校分　353千円 ・高速道路利用料　52千円　小学校分　6千円 中学校分　46千円 ・修学旅行乗務員旅費　56千円　小学校分　5千円 中学校分　51千円 ●インターネット環境のない家庭へのモバイル通信機器貸出用モバイル 通信機器の通信費　58千円 ・小学校分　46千円 ・中学校分　12千円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	×

①修学旅行における感染リスク低減

小学校では道内移動に１台と道外移動に１台の借上（増便）を行い、中学校では道外移動に１台のバス借上（増便）を行ったことで車内での密接を回避することができ、感染リスクの低減が図られた。

②モバイル通信機器貸出

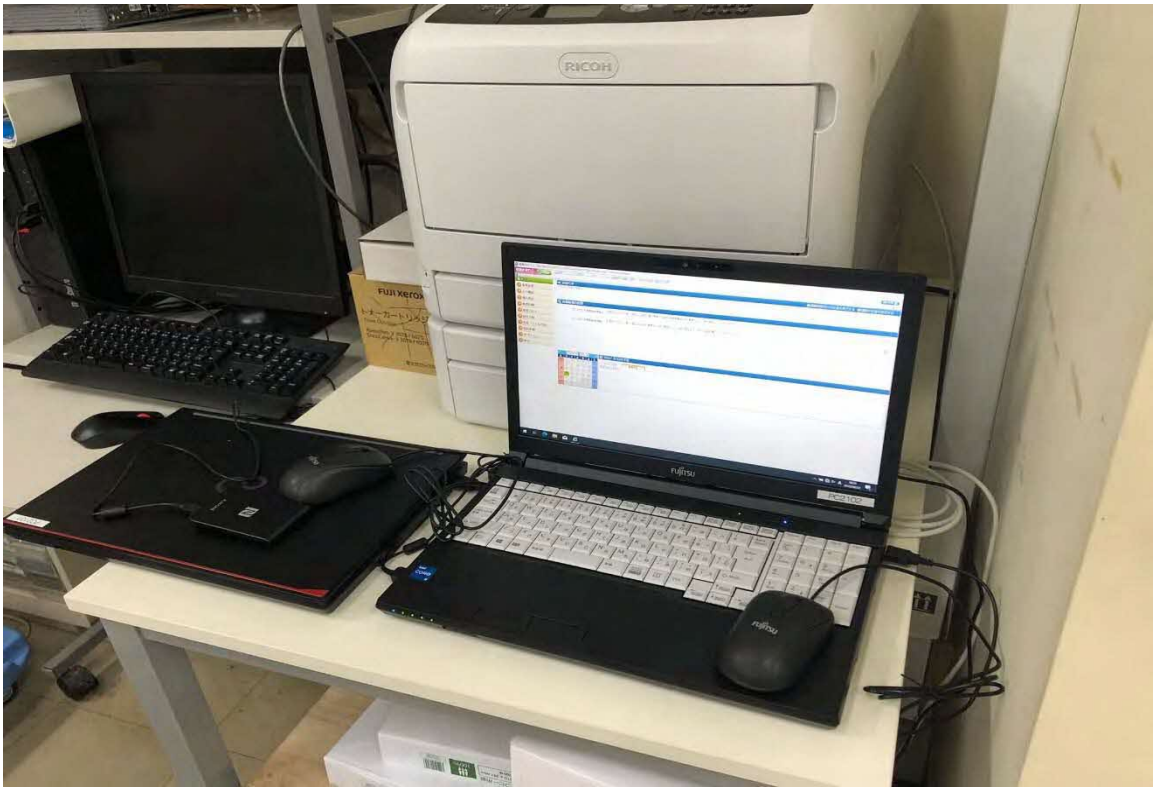
新型コロナ感染拡大により臨時休校になった場合にインターネット環境のない家庭へのオンライン授業体制の確保を図るため、令和２年５月に実施した家庭におけるインターネット環境調査により必要と見込んだ可搬型３０台を国庫補助金を活用して令和３年３月に整備した。令和３年度の貸出実績は２台（長期入院中の学習保障１件及び校外での学習保障１件）。令和４年度以降の本格運用に向けて引き続き効果の検証に努めて参る。

年度	R3	担当課	健康推進課		
計画No	34	事業名	健康管理システム導入		
実績額	11,849,079	事業期間	R3.10.20	～	R4.3.31
交付金充当額	644,000				
対象	町				

目的
町民の健康情報を一元化し経年データの管理を行うことで予防接種の接種間隔や対象の管理等チェック体制の強化・効率化を図る。

事業実施状況
健康管理システム導入経費一式 ・システム導入費用：7,670,773円 ・自治体検診データ標準化対応システム改修：4,059,000円 ・システム機器購入：119,306円

事業の評価・効果検証	見える化資料の有無	○
令和4年3月に導入完了し、令和4年度から活用する体制が整った。		

年度	R3	担当課	健康推進課
計画No	34	事業名	健康管理システム導入
資料			

健康管理システム一式